別記様式第２号（その１の１）

基　本　計　画　書

基　本　計　画								
事　項	記　入　欄							備　考
計　画　の　区　分	研究科の専攻の設置（国際連携専攻）							
フ　リ　ガ　ナ 設　置　者	ｺｸﾘﾂﾀﾞｲｶﾞｸﾎｳｼﾞﾝ　ﾅｺﾞﾔﾀﾞｲｶﾞｸ 国立大学法人　名古屋大学							【連携外国大学の設置者】 英国（グレートブリテン及び北アイルランド連合王国）
フ　リ　ガ　ナ 大　学　の　名　称	ﾅｺﾞﾔﾀﾞｲｶﾞｸﾀﾞｲｶﾞｸｲﾝ 名古屋大学大学院　(Graduate School of Nagoya University)							【連携外国大学の名称】 THE UNIVERSITY OF EDINBURGH (THE UNIVERSITY OF EDINBURGH)
大　学　本　部　の　位　置	愛知県名古屋市千種区不老町１							【連携外国大学の本部の位置】 The University of Edinburgh, Old College, South Bridge, Edinburgh, EH8 9YL
大　学　の　目　的	名古屋大学大学院は，学術の理論及び応用を教授研究し，その深奥を究め，高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことにより，文化の進展に寄与するとともに，学術の研究者，高度の専門技術者及び教授者の養成を目的とする。							
新設学部等の目的	世界のトップ研究大学とジョイント・ディグリープログラムを実施することで、互いの特徴を活かし、相互補完的な更に高いレベルの教育・研究を推進する。本専攻では、「自然科学の真理を探究し、新しい価値を創造しながら、人類と地球の豊かな未来に貢献することができるグローバル人材」を養成する。合同で学位を審査することで、学位の国際的質保証を担保する。これらを通じて、研究力ならびに教育力の国際的評価を獲得し、大学の国際的発信力と競争力の向上を図る。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	【連携外国大学の学部等及び所在地】 THE UNIVERSITY OF EDINBURGH College of Science and Enginnering School of Biological Science Darwin Building The King's Buildings Max Born Crescent Edinburgh EH9 3BF 〈 〉は本専攻を置く研究科の収容定員等
		年	人	年次人	人		年　月 第　年次		
	理学研究科 (Graduate School of Science) 名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻 (International Collaborative Programme in Science between the University of Edinburgh and Nagoya University)	3	2 〈72〉	－	6 〈216〉	博士 (理学) (Doctor of Philosophy)	平成28年10月 第１年次	愛知県名古屋市千種区不老町１	
	計	－	2	－	6				

同一設置者内における変更状況（定員の移行，名称の変更等）	理学研究科 物質理学専攻 （博士後期課程）〔定員減〕　（△1）（平成28年10月） 生命理学専攻 （博士後期課程）〔定員減〕　（△1）（平成28年10月） 情報学部（平成28年3月設置計画書提出済み） 自然情報学科　（ 38） （3年次編入学定員）　（ 4） 人間・社会情報学科　（ 38） （3年次編入学定員）　（ 4） コンピュータ科学科　（ 59） （3年次編入学定員）　（ 2） 情報文化学部（廃止） 自然情報学科　（△37） （3年次編入学定員）　（△5） 社会システム情報学科（△38） （3年次編入学定員）　（△5） ※平成29年4月学生募集停止 （3年次編入学定員は平成31年学生募集停止） 情報学研究科（平成28年3月設置計画書提出済み） 数理情報学専攻 （博士前期課程）　（ 14） （博士後期課程）　（ 4） 複雑系科学専攻 （博士前期課程）　（ 36） （博士後期課程）　（ 8） 社会情報学専攻 （博士前期課程）　（ 18） （博士後期課程）　（ 5） 心理・認知科学専攻 （博士前期課程）　（ 15） （博士後期課程）　（ 7） 情報システム学専攻 （博士前期課程）　（ 32） （博士後期課程）　（ 9） 知能システム学専攻 （博士前期課程）　（ 29） （博士後期課程）　（ 10） 情報科学研究科（廃止） 計算機数理科学専攻 （博士前期課程）　（△19） （博士後期課程）　（△ 5） 情報システム学専攻 （博士前期課程）　（△26） （博士後期課程）　（△ 7） メディア科学専攻 （博士前期課程）　（△24） （博士後期課程）　（△ 8） 複雑系科学専攻 （博士前期課程）　（△36） （博士後期課程）　（△ 8） 社会システム情報学専攻 （博士前期課程）　（△21） （博士後期課程）　（△ 7） ※平成29年4月学生募集停止	

教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数	
		講義	演習	実験・実習	計		
	理学研究科 名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 単位	

教員組織	学部等の名称		専任教員等						兼任教員等	
			教授	准教授	講師	助教	計	助手		
	新設分		人	人	人	人	人	人	人	【連携外国大学と調整を行う専任教員の状況等】 人数：1名 職名：特任助教 所属：国際連携理学専攻
		理学研究科 名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻	60 (60)	48 (48)	24 (24)	50 (50)	182 (182)	0 (0)	0 (0)	
		計	60 (60)	48 (48)	24 (24)	50 (50)	182 (182)	0 (0)	0 (0)	
	既設分		人	人	人	人	人	人	人	
		文学研究科								
		人文学専攻	32	18	1	5	56	0	20	
		（博士課程）	(32)	(18)	(1)	(5)	(56)	(0)	(20)	
		教育発達科学研究科								
		教育科学専攻	15	5	0	1	21	0	4	
		（博士課程）	(15)	(5)	(0)	(1)	(21)	(0)	(4)	
		心理発達科学専攻	9	3	0	1	13	0	0	
		（博士課程）	(9)	(3)	(0)	(1)	(13)	(0)	(0)	
		法学研究科								
		総合法政専攻	25	16	25	2	68	2	22	
		（博士課程）	(25)	(16)	(25)	(2)	(68)	(2)	(22)	
		実務法曹養成専攻	18	1	0	1	20	0	32	
		（専門職学位課程）	(18)	(1)	(0)	(1)	(20)	(0)	(32)	
		経済学研究科								
		社会経済システム専攻	12	11	1	1	25	0	2	
		（博士課程）	(12)	(11)	(1)	(1)	(25)	(0)	(2)	
		産業経営システム専攻	5	5	0	2	12	0	4	
		（博士課程）	(5)	(5)	(0)	(2)	(12)	(0)	(4)	
		理学研究科								
		素粒子宇宙物理学専攻	9	12	4	8	33	0	13	
		（博士課程）	(9)	(12)	(4)	(8)	(33)	(0)	(13)	
		物質理学専攻	17	15	1	23	56	0	5	
		（博士課程）	(17)	(15)	(1)	(23)	(56)	(0)	(5)	
		生命理学専攻	11	6	5	26	48	3	5	
		（博士課程）	(11)	(6)	(5)	(26)	(48)	(3)	(5)	
		医学系研究科								
		総合医学専攻	55	53	36	94	238	0	82	
		（博士課程）	(55)	(53)	(36)	(94)	(238)	(0)	(82)	
		名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻	63	17	1	0	81	0	0	
		（博士課程）	(1)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	
		看護学専攻	14	8	1	14	37	0	9	
		（博士課程）	(14)	(8)	(1)	(14)	(37)	(0)	(9)	
		医療技術学専攻	14	8	0	8	30	0	5	
		（博士課程）	(14)	(8)	(0)	(8)	(30)	(0)	(5)	
		リハビリテーション療法学専攻	8	4	0	4	16	0	7	
		（博士課程）	(8)	(4)	(0)	(4)	(16)	(0)	(7)	
		工学研究科								
		化学・生物工学専攻	17	14	2	15	48	0	12	
		（博士課程）	(17)	(14)	(2)	(15)	(48)	(0)	(12)	
		マテリアル理工学専攻	16	10	4	18	48	0	23	
		（博士課程）	(16)	(10)	(4)	(18)	(48)	(0)	(23)	
		電子情報システム専攻	12	10	1	7	30	0	11	
		（博士課程）	(12)	(10)	(1)	(7)	(30)	(0)	(11)	
		機械理工学専攻	11	10	3	13	37	0	16	
		（博士課程）	(11)	(10)	(3)	(13)	(37)	(0)	(16)	
		航空宇宙工学専攻	6	6	0	4	16	0	10	
		（博士課程）	(6)	(6)	(0)	(4)	(16)	(0)	(10)	

組織の概要	設置分	社会基盤工学専攻	8	6	1	6	21	0	14
		（博士課程）	(8)	(6)	(1)	(6)	(21)	(0)	(14)
		結晶材料工学専攻	5	6	0	8	19	0	17
		（博士課程）	(5)	(6)	(0)	(8)	(19)	(0)	(17)
		エネルギー理工学専攻	6	3	1	3	13	0	0
		（博士課程）	(6)	(3)	(1)	(3)	(13)	(0)	(0)
		量子工学専攻	7	3	1	9	20	0	0
		（博士課程）	(7)	(3)	(1)	(9)	(20)	(0)	(0)
		マイクロ・ナノシステム工学専攻	5	4	1	4	14	0	16
		（博士課程）	(5)	(4)	(1)	(4)	(14)	(0)	(16)
		物質制御工学専攻	6	3	3	7	19	0	4
		（博士課程）	(6)	(3)	(3)	(7)	(19)	(0)	(4)
		計算理工学専攻	5	5	0	3	13	0	5
		（博士課程）	(5)	(5)	(0)	(3)	(13)	(0)	(5)
		生命農学研究科							
		生物圏資源学専攻	11	9	0	13	33	0	0
		（博士課程）	(11)	(9)	(0)	(13)	(33)	(0)	(0)
		生物機構・機能科学専攻	12	11	0	14	37	0	4
		（博士課程）	(12)	(11)	(0)	(14)	(37)	(0)	(4)
		応用分子生命科学専攻	9	10	0	11	30	0	4
		（博士課程）	(9)	(10)	(0)	(11)	(30)	(0)	(4)
		生命技術科学専攻	8	8	0	5	21	0	2
		（博士課程）	(8)	(8)	(0)	(5)	(21)	(0)	(2)
		国際開発研究科							
		国際開発専攻	6	3	0	1	10	0	2
		（博士課程）	(6)	(3)	(0)	(1)	(10)	(0)	(2)
		国際協力専攻	6	3	0	1	10	0	0
		（博士課程）	(6)	(3)	(0)	(1)	(10)	(0)	(0)
		国際コミュニケーション専攻	8	7	0	1	16	0	0
		（博士課程）	(8)	(7)	(0)	(1)	(16)	(0)	(0)
		多元数理科学研究科							
		多元数理科学専攻	24	20	0	7	51	1	31
		（博士課程）	(24)	(20)	(0)	(7)	(51)	(1)	(31)
		国際言語文化研究科							
		日本言語文化専攻	6	6	0	0	12	0	0
		（博士課程）	(6)	(6)	(0)	(0)	(12)	(0)	(0)
		国際多元文化専攻	17	10	0	0	27	0	39
		（博士課程）	(17)	(10)	(0)	(0)	(27)	(0)	(39)
		環境学研究科							
		地球環境科学専攻	15	12	1	7	35	0	3
		（博士課程）	(15)	(12)	(1)	(7)	(35)	(0)	(3)
		都市環境学専攻	13	10	0	5	28	0	6
		（博士課程）	(13)	(10)	(0)	(5)	(28)	(0)	(6)
		社会環境学専攻	16	17	0	2	35	0	1
		（博士課程）	(16)	(17)	(0)	(2)	(35)	(0)	(1)
		情報科学研究科							
		計算機数理科学専攻	5	5	0	1	11	0	2
		（博士課程）	(5)	(5)	(0)	(1)	(11)	(0)	(2)
		情報システム学専攻	4	4	0	4	12	0	7
		（博士課程）	(4)	(4)	(0)	(4)	(12)	(0)	(7)
		メディア科学専攻	6	3	0	6	15	0	8
		（博士課程）	(6)	(3)	(0)	(6)	(15)	(0)	(8)
		複雑系科学専攻	12	6	0	7	25	0	2
		（博士課程）	(12)	(6)	(0)	(7)	(25)	(0)	(2)
		社会システム情報学専攻	6	4	0	1	11	0	7
		（博士課程）	(6)	(4)	(0)	(1)	(11)	(0)	(7)
		創薬科学研究科							
		基盤創薬学専攻	8	3	2	5	18	0	0
		（博士課程）	(8)	(3)	(2)	(5)	(18)	(0)	(0)
		計	540	396	94	378	1,408	6	－
			(540)	(396)	(94)	(378)	(1,408)	(6)	－
	合計		540	396	94	378	1,408	6	－
			(540)	(396)	(94)	(378)	(1,408)	(6)	－

教員以外の職員の概要	職種	専任	兼任	計	申請大学全体
	事務職員	人 651 (651)	人 1,399 (1,399)	人 2,050 (2,050)	
	技術職員	1,624 (1,624)	857 (857)	2,481 (2,481)	
	図書館専門職員	51 (51)	－ (－)	51 (51)	
	その他の職員	1 (1)	147 (147)	148 (148)	
	計	2,327 (2,327)	2,403 (2,403)	4,730 (4,730)	

校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	申請大学全体 うち附属病院 51,789㎡
	校舎敷地	617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	617,966 ㎡	
	運動場用地	105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,994 ㎡	
	小計	723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	723,960 ㎡	
	その他	2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,495,186 ㎡	
	合計	3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,219,146 ㎡	

校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	申請大学全体
	578,743 ㎡ (578,743 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	578,743 ㎡ (578,743 ㎡)	

教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	申請大学全体
	265室	301室	1,553室	19室 （補助職員　1人）	6室	

専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	
	理学研究科名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻	182 室	

図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	電子ジャーナルのみ申請大学全体
	理学研究科名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻	211,720〔170,389〕 (211,720〔170,389〕)	3,290〔2,569〕 (3,290〔2,569〕)	30,880〔30,309〕 (30,880〔30,309〕)	9,948 (9,948)	0 (0)	0 (0)	
	計	211,720〔170,389〕 (211,720〔170,389〕)	3,290〔2,569〕 (3,290〔2,569〕)	30,880〔30,309〕 (30,880〔30,309〕)	9,948 (9,948)	0 (0)	0 (0)	

図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数
	24,829 ㎡	2,031 席	3,205,300 冊

体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要
	9,229 ㎡	弓道場，プール（25m×7コース），陸上競技場（400mトラック），テニスコート（11面），野球場（1面），相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場（各1カ所）

経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設前年度	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	国費による
		教員１人当り研究費等		—	—	—	—	—	—	
		共同研究費等		—	—	—	—	—	—	
		図書購入費	—	—	—	—	—	—	—	
		設備購入費	—	—	—	—	—	—	—	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
学生納付金以外の維持方法の概要	該当なし					

	大学の名称	名古屋大学							
既設	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
		年	人	年次人	人		倍		
	文学部				520			昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町１
	人文学科	4	125	３年次10	520	学士（文学）	1.06	平成８年度	
	教育学部				280			昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町１
	人間発達科学科	4	65	３年次10	280	学士（教育学）	1.10	平成9年度	
	法学部				620			昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町１
	法律・政治学科	4	150	３年次10	620	学士（法学）	1.05	平成9年度	
	経済学部				840		1.05	昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町１
	経済学科	4	140		560	学士（経済学）		昭和24年度	
	経営学科	4	65		260	学士（経済学）		昭和24年度	
	学部共通			３年次10	20				
	情報文化学部				320		1.08	平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町１
	自然情報学科	4	37		148	学士（情報文化学）	1.09	平成5年度	
	社会システム情報学科	4	38		152	学士（情報文化学）	1.08	平成5年度	
	学部共通			３年次10	20				
	理学部				1,080		1.06	昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町１
	数理学科	4	55	—	220	学士（理学）		平成7年度	
	物理学科	4	90	—	360	学士（理学）		昭和24年度	
	化学科	4	50	—	200	学士（理学）		昭和24年度	
	生命理学科	4	50	—	200	学士（理学）		平成8年度	
	地球惑星科学科	4	25	—	100	学士（理学）		平成4年度	
	医学部				1,516			昭和24年度	
	医学科	6	107	3年次5	658	学士（医学）	1.01	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65
	保健学科	4	200	3年次20 2年次6	858	学士（看護学） 学士（保健学） 学士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	1.04	平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20

経済学部の定員超過率については，学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
理学部の定員超過率については，学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
医学科については，平成22年度より入学定員変更 103人→107人 3年次編入20人を含む。 保健学科については，2年次編入18人及び3年次編入40人を含む。

工学部				2,960		1.07	昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町１	
化学・生物工学科	4	150	—	600	学士（工学）	1.06	平成8年度		
物理工学科	4	190	—	760	学士（工学）	1.03	平成9年度		
電気電子・情報工学科	4	170	—	680	学士（工学）	1.07	平成７年度		
機械・航空工学科	4	160	—	640	学士（工学）	1.07	平成6年度		
環境土木・建築学科	4	70	—	280	学士（工学）	1.17	平成8年度		
農学部				680		1.05	昭和26年度	愛知県名古屋市千種区不老町１	
生物環境科学科	4	35	—	140	学士（農学）	1.05	平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士（農学）	1.04	平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士（農学）	1.06	平成18年度		
合　　計		2,107	3年次 75 2年次 6	8,820					

研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
文学研究科							昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町１	
人文学専攻							平成12年度		
（博士前期課程）	2	60	—	120	修士（文学） 修士（歴史学）	0.96			
（博士後期課程）	3	30	—	90	博士（文学） 博士（歴史学）	0.87			
教育発達科学研究科							昭和28年度 (平成12年度名称変更)	愛知県名古屋市千種区不老町１	
教育科学専攻							平成12年度		
（博士前期課程）	2	32	—	64	修士（教育学） 修士（教育）	0.73			
（博士後期課程）	3	16	—	48	博士（教育学） 博士（教育）	1.03			
心理発達科学専攻							平成12年度		
（博士前期課程）	2	22	—	44	修士（心理学） 修士（臨床心理学）	0.90			
（博士後期課程）	3	15	—	45	博士（心理学）	1.17			
法学研究科							昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町１	
総合法政専攻							平成16年度		
（博士前期課程）	2	35	—	70	修士（法学） 修士（比較法学） 修士（現代法学）	0.88			
（博士後期課程）	3	17	—	51	博士（法学） 博士（比較法学） 博士（現代法学）	0.70			
実務法曹養成専攻 （専門職学位課程）	3	70	—	210	法務博士 （専門職）	0.62	平成16年度		

大

	経済学研究科							昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町１	
	社会経済システム専攻							平成12年度		
	（博士前期課程）	2	30	—	60	修士（経済学） 修士（経営管理学）	0.76			
	（博士後期課程）	3	15	—	45	博士（経済学）	0.42			
	産業経営システム専攻							平成12年度		
	（博士前期課程）	2	14	—	28	修士（経済学）	0.92			
	（博士後期課程）	3	7	—	21	博士（経済学）	0.95			
	理学研究科							昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町１	
	素粒子宇宙物理学専攻							平成7年度		
	（博士前期課程）	2	66	—	132	修士（理学）	1.07			
	（博士後期課程）	3	30	—	90	博士（理学）	0.69			
	物質理学専攻							平成7年度		物理工学専攻（博士後期課程）については，平成26年度より入学定員変更 24人→23人
	（博士前期課程）	2	63	—	126	修士（理学）	1.25			
	（博士後期課程）	3	23	—	70	博士（理学）	0.82			
	生命理学専攻							平成8年度		
	（博士前期課程）	2	42	—	84	修士（理学）	1.10			
	（博士後期課程）	3	19	—	57	博士（理学）	0.39			
	医学系研究科							昭和30年度 (平成14年度名称変更)	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	
	総合医学専攻							平成25年度		
	（博士課程）	4	157	—	479	博士（医学）	1.16			
	名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻							平成27年度		
	（博士課程）	4	4	—	4	博士（医学）	0.12			
	分子総合医学専攻							平成12年度		平成25年度より学生募集停止（分子総合医学専攻，細胞情報医学専攻，機能構築医学専攻，健康社会医学専攻）
	（博士課程）	4	—	—	52	博士（医学）				
	細胞情報医学専攻							平成11年度		
	（博士課程）	4	—	—	43	博士（医学）				
	機能構築医学専攻							平成12年度		
	（博士課程）	4	—	—	39	博士（医学）				
	健康社会医学専攻							平成10年度		
	（博士課程）	4	—	—	27	博士（医学）				
	医科学専攻							平成13年度		
	（修士課程）	2	20	—	40	修士（医科学）	1.02			
	医療行政コース	1	10	—	10	修士（医療行政学）	1.10			
	看護学専攻							平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
	（博士前期課程）	2	18	—	36	修士（看護学）	0.83			
	（博士後期課程）	3	6	—	18	博士（看護学）	1.22			
	医療技術学専攻							平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
	（博士前期課程）	2	20	—	40	修士（医療技術学）	1.35			
	（博士後期課程）	3	7	—	21	博士（医療技術学）	0.71			

学

	リハビリテーション療法学専攻										
	（博士前期課程）	2	10	—	20	修士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ療法学）	1.40	平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20		
	（博士後期課程）	3	4	—	12	博士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ療法学）	1.50				
	工学研究科							昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町１		
	化学・生物工学専攻							平成16年度		化学・生物工学専攻（博士後期課程）については，平成26年度より入学定員変更23人→22人	
	（博士前期課程）	2	61	—	122	修士（工学）	1.69				
	（博士後期課程）	3	22	—	67	博士（工学）	0.72				
	マテリアル理工学専攻							平成16年度			
	（博士前期課程）	2	84	—	168	修士（工学）	1.39				
	（博士後期課程）	3	27	—	81	博士（工学）	0.42				
	電子情報システム専攻							平成16年度			
	（博士前期課程）	2	54	—	108	修士（工学）	1.60				
	（博士後期課程）	3	20	—	60	博士（工学）	0.75				
	機械理工学専攻							平成16年度			
	（博士前期課程）	2	44	—	88	修士（工学）	1.86				
	（博士後期課程）	3	16	—	48	博士（工学）	0.80				
	航空宇宙工学専攻							昭和35年度（平成16年度再編）			
	（博士前期課程）	2	14	—	28	修士（工学）	2.14				
	（博士後期課程）	3	6	—	18	博士（工学）	0.44				
	社会基盤工学専攻							平成16年度		社会基盤工学専攻（博士後期課程）については，平成26年度より入学定員変更10人→9人	
	（博士前期課程）	2	32	—	64	修士（工学）	1.09				
等	（博士後期課程）	3	9	—	28	博士（工学）	0.58				
	結晶材料工学専攻							昭和52年度（平成16年度再編）			
	（博士前期課程）	2	40	—	80	修士（工学）	1.02				
	（博士後期課程）	3	8	—	24	博士（工学）	0.33				
	エネルギー理工学専攻							平成５年度（平成16年度再編）			
	（博士前期課程）	2	36	—	72	修士（工学）	0.81				
	（博士後期課程）	3	9	—	27	博士（工学）	0.18				
	量子工学専攻							平成3年度（平成16年度再編）			
	（博士前期課程）	2	35	—	70	修士（工学）	0.93				
	（博士後期課程）	3	7	—	21	博士（工学）	0.42				
	マイクロ・ナノシステム工学専攻							平成16年度			
	（博士前期課程）	2	30	—	60	修士（工学）	1.08				
	（博士後期課程）	3	6	—	18	博士（工学）	1.16				
	物質制御工学専攻							平成8年度（平成16年度再編）			
	（博士前期課程）	2	35	—	70	修士（工学）	0.99				
	（博士後期課程）	3	7	—	21	博士（工学）	0.47				
	計算理工学専攻							平成9年度（平成16年度再編）			
	（博士前期課程）	2	30	—	60	修士（工学）	0.98				
	（博士後期課程）	3	6	—	18	博士（工学）	0.77				

	生命農学研究科							昭和30年度 （平成9年度名称変更）	愛知県名古屋市千種区不老町１	下記専攻については，平成26年度より入学定員変更
	生物圏資源学専攻							平成11年度		
	（博士前期課程）	2	35	—	70	修士（農学）	1.02			生物圏資源学専攻 11人→10人
	（博士後期課程）	3	10	—	31	博士（農学）	0.83			
	生物機構・機能科学専攻							平成9年度		
	（博士前期課程）	2	37	—	74	修士（農学）	1.06			生物機構・機能科学専攻 12人→11人
	（博士後期課程）	3	11	—	34	博士（農学）	0.54			
	応用分子生命科学専攻							平成10年度		
	（博士前期課程）	2	39	—	78	修士（農学）	1.28			応用分子生命科学専攻 13人→12人
	（博士後期課程）	3	12	—	37	博士（農学）	0.63			
	生命技術科学専攻							平成16年度		
	（博士前期課程）	2	28	—	56	修士（農学）	1.24			
	（博士後期課程）	3	9	—	27	博士（農学）	0.88			
	国際開発研究科							平成３年度	愛知県名古屋市千種区不老町１	
	国際開発専攻							平成３年度		
	（博士前期課程）	2	22	—	44	修士（国際開発学） 修士（学術）	1.15			
	（博士後期課程）	3	11	—	33	博士（国際開発学） 博士（学術）	1.02			
	国際協力専攻							平成4年度		
	（博士前期課程）	2	22	—	44	修士（国際開発学） 修士（学術）	1.11			
	（博士後期課程）	3	11	—	33	博士（国際開発学） 博士（学術）	0.69			
	国際コミュニケーション専攻							平成5年度		
	（博士前期課程）	2	20	—	40	修士（学術）	1.05			
	（博士後期課程）	3	10	—	30	博士（学術）	0.66			
	多元数理科学研究科							平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町１	
	多元数理科学専攻							平成7年度		
	（博士前期課程）	2	47	—	94	修士（数理学）	1.12			
	（博士後期課程）	3	30	—	90	博士（数理学）	0.38			
	国際言語文化研究科							平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町１	
	日本言語文化専攻							平成10年度		
	（博士前期課程）	2	20	—	40	修士（文学） 修士（学術）	0.90			
	（博士後期課程）	3	10	—	30	博士（文学） 博士（学術）	0.93			
	国際多元文化専攻							平成10年度		
	（博士前期課程）	2	28	—	56	修士（文学） 修士（学術）	1.05			
	（博士後期課程）	3	14	—	42	博士（文学） 博士（学術）	0.80			

の

	環境学研究科							平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町１	
	地球環境科学専攻							平成13年度		
	（博士前期課程）	2	54	—	108	修士（環境学） 修士（理学）	0.83			
	（博士後期課程）	3	25	—	75	博士（環境学） 博士（理学）	0.34			
	都市環境学専攻							平成13年度		
	（博士前期課程）	2	47	—	94	修士（環境学） 修士（工学） 修士（建築学）	1.42			
	（博士後期課程）	3	21	—	63	博士（環境学） 博士（工学） 博士（建築学）	0.39			
	社会環境学専攻							平成13年度		
	（博士前期課程）	2	36	—	72	修士（環境学） 修士（心理学） 修士（社会学） 修士（地理学） 修士（法学） 修士（経済学）	0.87			
状	（博士後期課程）	3	18	—	54	博士（環境学） 博士（心理学） 博士（社会学） 博士（地理学） 博士（法学） 博士（経済学）	0.44			
	情報科学研究科							平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町１	
	計算機数理科学専攻							平成15年度		
	（博士前期課程）	2	19	—	38	修士（情報科学） 修士（工学） 修士（学術）	0.73			
	（博士後期課程）	3	5	—	15	博士（情報科学） 博士（工学） 博士（学術）	0.26			
	情報システム学専攻							平成15年度		
	（博士前期課程）	2	26	—	52	修士（情報科学） 修士（工学） 修士（学術）	1.09			
	（博士後期課程）	3	7	—	21	博士（情報科学） 博士（工学） 博士（学術）	1.04			
	メディア科学専攻							平成15年度		
	（博士前期課程）	2	24	—	48	修士（情報科学） 修士（工学） 修士（学術）	1.02			
	（博士後期課程）	3	8	—	24	博士（情報科学） 博士（工学） 博士（学術）	0.83			
	複雑系科学専攻							平成15年度		
	（博士前期課程）	2	36	—	72	修士（情報科学） 修士（工学） 修士（学術）	1.02			
	（博士後期課程）	3	8	—	24	博士（情報科学） 博士（工学） 博士（学術）	0.70			

	社会システム情報学専攻 （博士前期課程） （博士後期課程）	2 3	21 7	— —	42 21	修士（情報科学） 修士（工学） 修士（学術） 博士（情報科学） 博士（工学） 博士（学術）	0.95 0.42	平成15年度		
	創薬科学研究科 基盤創薬学専攻 （博士前期課程） （博士後期課程）	 2 3	 27 10	 — —	 54 20	 博士（創薬科学） 博士（創薬科学）	 1.05 0.96	平成24年度 平成24年度 平成26年度	愛知県名古屋市千種区不老町１	
況	合計 博士前期課程 博士後期課程 博士課程 修士課程 専門職学位課程		1,525 569 161 30 70	— — — — —	3,040 1,703 644 50 210					

附属施設の概要	名　　称	目　的	所在地	設置年月	規模等（延面積）
	環境医学研究所	教育・研究	愛知県名古屋市千種区不老町１	昭和24年5月	6,366㎡
	アイソトープ総合センター			昭和51年5月	5,602㎡
	遺伝子実験施設			昭和59年4月	1,928㎡
	留学生センター			平成5年4月	1,709㎡
	物質科学国際研究センター			平成10年4月	7,585㎡
	高等教育研究センター			平成10年4月	405㎡
	農学国際教育研究協力センター			平成11年4月	450㎡
	博物館			平成12年4月	2,812㎡
	発達心理精神科学教育研究センター			平成13年4月	527㎡
	法政国際教育協力研究センター			平成14年4月	323㎡
	生物機能開発利用研究センター			平成15年4月	2,619㎡
	未来社会・システム研究所			平成16年4月	13,626㎡
	シンクロトロン光研究センター			平成19年4月	502㎡
	基礎理論研究センター			平成22年4月	1,117㎡
	現象解析研究センター			平成22年4月	
	グリーンモビリティ連携研究センター			平成23年7月	684㎡
	減災連携研究センター			平成24年1月	2,720㎡
	細胞生理学研究センター			平成24年4月	1,106㎡
	脳とこころの研究センター			平成25年12月	164㎡
	ナショナルコンポジットセンター			平成26年1月	1,620㎡
	予防早期医療創成センター			平成27年7月	365㎡
	宇宙地球環境研究所			平成27年10月	17,841㎡

	学生相談総合センター	教育研究・管理運営支援		平成13年4月	599㎡
	情報基盤センター	研究，教育等に係る情報化を推進するための実践的調査研究及び情報技術支援		平成21年4月	4,439㎡
	医学部附属病院	医学の研究，教育及び診療	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	昭和24年5月	94,138㎡

別記様式第２号（その２の３）

（用紙　日本工業規格Ａ４横型）

教育課程等の概要（国際連携学科等）

（理学研究科　名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻）

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置														備考
											申請大学						連携外国大学								
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員	助手に相当する教員	小計	合計	
（研究指導）			1～3通	名古屋大学・エディンバラ大学	－	－	－	－			60	48	24	50	0	182	13	1	3	2	0	19	201	
合計（1科目）			－					－			60	48	24	50	0	182	13	1	3	2	0	19	201	

学位又は称号	博士（理学）(Doctor of Philosophy)	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	開設大学等	開設単位数（必修）	授業期間等	
標準修業年限以上在学し、必要な研究指導を受け、最終年次の研究報告会において口頭発表を行い、博士論文の審査に合格することを修了要件とする。	名古屋大学	－	１学年の学期区分	－
	エディンバラ大学	－	１学期の授業期間	－
			１時限の授業時間	－

別記様式第２号（その２の３）

（用紙　日本工業規格Ａ４横型）

教育課程等の概要（国際連携学科等）

（理学研究科　名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻）（名古屋大学）

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置														備考
											申請大学						連携外国大学								
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員	助手に相当する教員	小計	合計	
（研究指導）			1～3通	名古屋大学	－	－	－	－			60	48	24	50	0	182							182		
合計（1科目）			－					－			60	48	24	50	0	182							182		

学位又は称号	博士（理学）(Doctor of Philosophy)	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	開設大学等	開設単位数（必修）	授業期間等	
標準修業年限以上在学し、必要な研究指導を受け、最終年次の研究報告会において口頭発表を行い、博士論文の審査に合格することを修了要件とする。	名古屋大学	－	１学年の学期区分	－
			１学期の授業期間	－
			１時限の授業時間	－

別記様式第２号（その２の３）

（用紙　日本工業規格Ａ４横型）

教育課程等の概要（国際連携学科等）

（理学研究科　名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻）（エディンバラ大学）

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置														備考
											申請大学						連携外国大学								
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員	助手に相当する教員	小計	合計	
（研究指導）			1～3通	エディンバラ大学	－	－	－	－									13	1	3	2	0	19	19	
合計（1科目）			－					－									13	1	3	2	0	19	19	

学位又は称号	博士（理学）(Doctor of Philosophy)	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	開設大学等	開設単位数（必修）	授業期間等	
標準修業年限以上在学し、必要な研究指導を受け、最終年次の研究報告会において口頭発表を行い、博士論文の審査に合格することを修了要件とする。			１学年の学期区分	－
	エディンバラ大学	－	１学期の授業期間	－
			１時限の授業時間	－

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科　素粒子宇宙物理学専攻）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究指導		1-3通	－			－			21	21	3	14	0	
合計（1科目）		－	0	0	0	－			21	21	3	14	0	

学位又は称号	博士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
標準修業年限以上在学し、必要な研究指導を受け、博士論文の審査に合格することを修了要件とする。	１学年の学期区分	－
	１学期の授業期間	－
	１時限の授業時間	－

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科　物質理学専攻）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究指導		1-3通	－			－			20	15	5	20	0	
合計（1科目）		－	0	0	0	－			20	15	5	20	0	

学位又は称号	博士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
標準修業年限以上在学し、必要な研究指導を受け、博士論文の審査に合格することを修了要件とする。	１学年の学期区分	－
	１学期の授業期間	－
	１時限の授業時間	－

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科　生命理学専攻）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究指導		1-3通	－			－			15	10	9	19	2	
合計（1科目）		－	0	0	0	－			15	10	9	19	2	

学位又は称号	博士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
標準修業年限以上在学し、必要な研究指導を受け、博士論文の審査に合格することを修了要件とする。	１学年の学期区分	－
	１学期の授業期間	－
	１時限の授業時間	－

別記様式第２号（その３の３）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

授業科目の概要（国際連携学科等）

（理学研究科　名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻）

科目区分		開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		名古屋大学	研究指導	（概要） 理学領域の多様な専門分野に関して、研究の実践、指導を行い、研究課題について論文指導を行う。 （1　東山　哲也） 植物生殖における鍵分子の同定を中心に研究を行い、植物生殖、ペプチド、マイクロゲノミクス、細胞操作、ライブイメージングに関する研究指導を行う。 （2　伊丹　健一郎） 有機合成アプローチの一つである「C-Hカップリング」を実現するユニークかつ高活性な触媒開発を取り上げ、合成指向型の触媒開発研究の指導を行う。 （3　木下　俊則） オーキシンやブラシノステロイドによる植物の成長の分子機構の解明関する研究を行い、植物分子生物学、植物ケミカルバイオロジー、気孔、オーキシン、植物成長をテーマとした研究指導を行う。 （4　山口　茂弘） 典型元素の特徴を活かした分子設計指針の提案と新規な合成手法の開発の両方からのアプローチにより多様な優れた機能性分子の創出を中心に、蛍光分子、分子デザイン、物理有機化学に関する研究指導を行う。 （5　IRLE STHEPHAN） 極限条件下における、量子化学分子動力学法の複雑系への応用化学反応や各種物質の分子特性に関する研究を取り上げ、量子化学、ナノマテリアル科学に関する課題の研究指導を行う。 （6　多田　安臣） 無細胞タンパク質合成、転写因子、エンバク葉枯病菌、複合体解析、植物免疫応答、特異性決定因子等を取り上げ、植物病理学、植物の環境感覚、植物保護科学、植物分子・生理科学等の分野で研究指導を行う。	

				（7　杉田　護） オルガネラ遺伝子の発現を制御する分子メカニズムの解明を中心に、色素体、ミトコンドリア、レトログレードシグナリング、RNA編集、シアノバクテリア、オルガネラの起源等に関する課題の研究指導を行う。 （8　井原　邦夫） X線結晶構造解析、古細菌、バクテリオロドプシン、ハロロドプシン、好塩菌、イオンポンプをキーワードに、生物物理学 膜超分子モ-タ-の革新的ナノサイエンス分野の課題に関する研究指導を行う。 （9　松尾　拓哉） 単細胞真核生物である緑藻クラミドモナスを時計遺伝子研究の新しいモデル系として確立し、概日時計のメカニズムや概日時計を構成する遺伝子の課題に関する研究指導を行う。 （10　伊藤　好孝） ニュートリノ、宇宙線、スーパーカミオカンデ、ニュートリノ振動、陽子崩壊、素粒子実験等をキーワードに、素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理分野の課題に関する研究指導を行う。 （11　塚　隆志） 宇宙線、LHC加速器、最高エネルギー宇宙線、ハドロン相互作用、加速器、太陽中性子等をキーワードに、素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理分野の課題に関する研究指導を行う。 （12　松原　豊） 高感度宇宙放射線測定装置による太陽中性子の観測等をテーマに、主に宇宙線物理学分野の課題に関する研究指導を行う。 （13　増田　公明） 宇宙線が地球に与える影響や放射性炭素測定法を用いて観測される太陽活動における研究を中心に、主に宇宙線物理学、放射線物理学分野の課題に関する研究指導を行う。 （14　水野　亮） 太陽極大期の高エネルギー粒子が大気に及ぼす影響やチリ共和国アタカマにおける成層圏・中間圏の水蒸気同位体およびオゾン等における研究を中心に、主に天文学、気象・海洋物理・陸水学、超高層物理学分野に関する研究指導を行う。 （15　中山　智喜） 大気微量成分およびエアロゾルの高感度計測装置の開発と大気計測への応用や分光学的手法を用いた大気化学反応過程の実験的研究を主に、大気エアロゾルやその光学特性に関する研究指導を行う。	

（16　長濵　智生）
　磁気圏加速電子との相互作用による大気微量分子の組成変動機構の観測的研究を主に、気象・海洋物理・陸水学、超高層物理学の分野に関する研究指導を行う。

（17　増田　智）
　地球に影響を与える太陽活動現象の研究、 具体的には以下のような現象の研究を主に、太陽物理学、とくに太陽フレア、CME、高エネルギー粒子加速機構、太陽活動現象と惑星間空間擾乱の関係に関する研究指導を行う。

（18　家田　章正）
　異なる領域のデータを組合わせることで、オーロラ爆発のメカニズム等の解明を中心に、オーロラ科学、太陽地球系電磁気学に関する研究指導を行う。

（19　徳丸　宗利）
　ＩＰＳ観測を用いて太陽風の加速と擾乱スペクトルについての研究、太陽風中のＣＭＥの3次元構造と伝搬の研究、トモグラフィー解析法を用いた太陽風予報の研究、太陽風構造の長期変動に関する研究を行っており、惑星間空間物理学、宇宙空間物理学、電波天文学に関する研究指導を行う。

（20　藤木　謙一）
　太陽風、CME、惑星間空間シンチレーション、電波観測、加速機構、惑星間空間衝撃波などをキーワードに、太陽物理学、太陽風物理学の分野に関する研究指導を行う。

（21　平原　聖文）
　磁気圏加速電子との相互作用による大気微量分子の組成変動機構の観測的研究を主に、気象・海洋物理・陸水学、超高層物理学の分野に関する研究指導を行う。

（22　大山　伸一郎）
脈動オーロラが起こす熱圏風速変動の解明を課題に超高層物理学の分野で研究指導を行う。

（23　大塚　雄一）
電離圏・熱圏の春・秋非対称性やGPSシンチレーション観測による極域電離圏イレギュラリティの研究を中心に超高層物理学に関する研究指導を行う。

（24　野澤　悟徳）
北極域拠点観測による大気上下結合の研究やレーダー観測とシミュレーションによる北極域下部熱圏-中間圏結合の解明を課題として超高層物理学関連の研究指導を行う。

				（25　塩川　和夫） 人工衛星における地上ネットワーク観測に基づく内部磁気圏の粒子変動メカニズムの研究をテーマに大気重力波、オーロラ、国際情報交換、磁気嵐等のキーワードを取り巻く分野での研究指導を行う。 （26　草野　完也） 太陽地球圏環境予測における国際連携研究の推進を最新の研究課題にプラズマ理工学、天文学の分野で研究指導を行う。 （27　阿部　文雄） MOA II 1.8m望遠鏡による重力波天体の追観測や広視野望遠鏡を利用した重力波天体の光学観測を中心に素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理の分野で研究指導を行う。 （28　田島　宏康） 宇宙ガンマ線観測による銀河中心におけるダークマター探査を主な研究課題に素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理に関連した研究指導を行う。 （29　松見　豊） レーザー分光同位体計測計を用いた大気環境の動態解明を中心課題に環境動態解析や物理化学、構造化学といったキーワードに代表される分野での研究指導を行う。 （30　市來　淨與） 電波による中性水素探査を用いた銀河および宇宙大規模構造の起源と進化の解明を中心に素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理の分野で研究指導を行う。 （31　久野　純治） テラスケールの素粒子模型と暗黒物質の正体の解明やテラスケール物理における世代構造の研究を中心に素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理の分野で研究指導を行う。 （32　野中　千穂） QCD相図の包括的な研究ー基礎論と現象論から探る重イオン衝突の物理やQCD相転移機構・QGP状態の多角的な研究ーRHIC・LHC物理理解といった課題を掲げ、素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理の分野で研究指導を行う。 （33　前川　展祐） 自然な大統一理論における宇宙史の構築と実験からの制限を最新の研究課題に素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理の分野で研究指導を行う。	

				（34　飯嶋　徹） チェレンコフ光を用いた高時間分解能TOF-PET装置の開発、タウレプトンをプローブとする新物理探索を中心課題に素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理関連の分野で研究指導を行う。 （35　北口　雅暁） 大強度パルス中性子に対応した中性子干渉光学素子の高性能化を課題に応用物理学一般の研究指導を行う。 （36　松本　浩典） 新素材と新レプリカ法による軽量高角度分解能反射鏡の開発を最新の研究課題として天文学関連の分野で研究指導を行う。 （37　日比　正彦） 　脊椎動物の体軸形成と神経高次構造形成の解析を課題に動物器官機能学の分野で研究指導を行う。 （38　清水　貴史） 　高次神経組織構形成とその機能発現機構の解析をテーマに動物器官機能学の分野で研究指導を行う。 （39　橋本　寿史） 　神経堤細胞の分化機構とメダカの遺伝学をテーマに動物器官機能学の分野で研究指導を行う。 （40　北村　雅人） 　触媒的不斉全合成、環境調和型触媒反応、機構解明、非天然ペプチド・核酸を中心テーマに有機合成化学の分野で研究指導を行う。 （41　五島　剛太） 　微小管と細胞分裂をテーマに染色体分配装置の再構成や非対称分裂時の細胞板配置機構の解明等を課題に研究指導を行う。 （42　金岡　雅浩） 　花粉管ガイダンス分子の作用機構と分子進化をテーマに関連する研究分野の研究指導を行う。	

（43　佐々木（東山）　成江）
　ミトコンドリア核様体の分子構築を中心的課題として研究指導を行う。

（44　渡邉　定則）
　多細胞発生時の細胞分裂機構を中心的なテーマに関連する研究分野での研究指導を行う。

（45　清光　智美）
　紡錘体配置の仕組みを中心テーマに研究指導を行う。

（46　上川内（竹内）　あづさ）
　聴覚情報処理システムの動作原理の解明を課題に脳回路構造学の分野で研究指導を行う。

（47　松林　嘉克）
　植物のかたちづくりを担う細胞間シグナルの探索と解析を課題を中心に関連するテーマでの研究指導を行う。

（48　杉山　伸）
　巨大ミトコンドリアの背景にある機構をテーマに研究指導を行う。

（49　吉岡　泰）
　植物発生生長に関与するオルガネラ機能を中心に研究指導を行う。

（50　髙木　新）
　セマフォリン・プレキシン系の情報伝達機構のテーマで研究指導を行う。

（51　篠原　秀文）
　細胞間シグナルの受容体探索と解析を主なテーマとして研究指導を行う。

				（52　八木　克将） 　ショウジョウバエ自然免疫の分子機構を中心に研究指導を行う。 （53　木下　専） 　表現型制御機構としての細胞骨格系とその破綻による疾患感受性を主なテーマに研究指導を行う。 （54　嘉村　巧） 　ユビキチンシステムによるタンパク質分解機構の解明をテーマに論文・研究指導を行う。 （55　石原（上田）　奈津実） 　セプチンによるドーパミン神経伝達機構の制御などシグナル伝達や細胞制御に関する研究指導を行う。 （56　中務　邦雄） 　オルガネラの恒常性維持におけるタンパク質修飾システムをテーマに研究指導を行う。 （57　進藤　麻子） 　細胞生物学や発生生物学の観点から、細胞の不均一性を基盤とした組織形態形成のメカニズムの解明を中心に研究指導を行う。 （58　奥村　文彦） 　ユビキチン様分子ＩＳＧ１５依存性タンパク質翻訳制御と自然免疫応答の関連性の解析を中心に研究指導を行う。 （59　平子　善章） 　細胞・基質間接着と組織構築をキーワードに組織の分化や再生に果たす細胞・基質間接着の役割を解明について研究指導を行う。 （60　井上　晋一郎） 　光受容体を介した植物の光応答とそのシグナル伝達を中心に研究指導を行う。	

				(61　髙橋　宏二) 植物の細胞伸長制御におけるシグナル伝達機構をテーマに研究指導を行う。 (62　塚田　祐基) 神経回路における動的な情報処理機構の解明することを目標に研究指導を行う。 (63　黒岩　厚) ―脊椎動物の発生における形態形成の遺伝子的制御機構をテーマに研究指導を行う。 (64　松本　邦弘) 生物の発生・細胞分化を制御する情報伝達機構について研究指導を行う。 (65　花房　洋) Xenopus初期胚及び哺乳動物細胞を用いた情報伝達機構解析をテーマに研究指導を行う。 (66　久本　直毅) 植物における環境応答のシグナル伝達機構を中心に研究指導を行う。 (67　本間　道夫) 細菌べん毛モーターのエネルギー変換機構と回転制御機構に関する研究指導を行う。 (68　瀧口　金吾) 生体膜の動態の分子制御機構について研究指導を行う。 (69　成田　哲博) クライオ電子顕微鏡による細胞骨格・モーター蛋白質の構造研究をテーマに研究指導を行う。	

（70　小嶋　誠司）
細菌べん毛モーター回転の分子機構を中心に研究指導を行う。

（71　大隅　圭太）
卵表層の機能・構造制御の研究を中心に研究指導を行う。

（72　北山　陽子）
概日リズムの分子機構をテーマに研究指導を行う。

（73　岩渕（大隅）　万里）
核の分化能制御の研究を中心に研究指導を行う。

（74　赤坂（大川内）　茉莉）
卵成熟期における細胞表層リモデリングの分子基盤をテーマに研究指導を行う。

（75　金森　章）
小型魚で生殖巣性分化機構を探ることをテーマに研究指導を行う。

（76　原田　正康）
ホログラフィックＱＣＤ模型を用いた有限密度ＱＣＤの探究をテーマに素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理分野で研究指導を行う。

（77　居波　賢二）
10ps時間分解能TOF検出器の開発などをテーマに 素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理で研究指導を行う。

（78　酒井　忠勝）
ゲージ理論と弦理論の非摂動効果に関する研究を中心に素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理の分野で研究指導を行う。

				（79　杉山　直） 　ダークエネルギーの理論モデル構築とその観測的検証や宇宙磁場の生成と構造形成に及ぼす影響を課題に関連する分野での研究指導を行う。 （80　田原　譲） 　暗黒物質探査用X線光学システムの構築可能性評価等を課題に天文学、宇宙物理学の分野で研究指導を行う。 （81　中野　敏行） 　原子核乾板、ニュートリノ、顕微鏡、暗黒物質、ガンマ線をキーワードに関連する分野の研究指導を行う。 （82　松原　隆彦） 　宇宙の大規模構造における天体バイアスの統計的研究を中心テーマに研究指導を行う。 （83　三石　郁之） 　GCIBを利用した独自の超軽量X線望遠鏡の角度分解能の改善を課題として関連分野の研究指導を行う。 （84　大薮　進喜） 　赤外線天文衛星「あかり」中間赤外線サーベイによる隠された活動銀河核探査を中心に天文学関連の研究指導を行う。 （85　渡邉　智彦） 　プラズマ非線形現象について、理論と計算機シミュレーションを使った研究を中心に研究指導を行う。 （86　清水　裕彦） 　熱外中性子速度選別器の基礎研究を中心に中性子を用いた素粒子・原子核物理実験を行っており、関連分野の研究指導を行う。 （87　前山　伸也） 　マルチスケールプラズマ乱流におけるミクロメゾスケール渦の形成・消失過程の解明を課題にプラズマ科学関連の研究指導を行う。	

				（88　犬塚　修一郎） 星形成理論の展開や原始惑星系円盤における弱電離プラズマ素過程と惑星形成過程の理論的研究を中心に天文学の分野で研究指導を行う。 （89　福井　康雄） 星間水素の精密定量による新たな星間物質像の構築や星間物質の精査によるガンマ線超新星残骸の探求などを課題に天文学の分野で研究指導を行う。 （90　鈴木　建） 高解像度大局数値実験による、降着円盤、天体風における磁気流体乱流過程の研究を中心に天文学分野の研究指導を行う。 （91　竹内　努） 宇宙暗黒時代から現在に至る統一的銀河スペクトル進化モデルの構築や化学進化を整合的に取り入れた銀河のSEDモデル構築をテーマに研究指導を行う。 （92　立原　研悟） 電波天文学、星間磁場、電波観測、星間乱流、星形成、星間物質をキーワードに電波天文学の分野で研究指導を行う。 （93　小林　浩） ダスト、惑星形成、系外惑星、惑星、デブリ円盤をキーワードに天文学関連分野の研究指導を行う。 （94　棚橋　誠治） ヒッグス結合の精密測定から探る標準模型を超える物理を課題に素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理関連分野で研究指導を行う。 （95　野尻　伸一） 拡張された重力理論に基づく宇宙の歴史を再現する模型の構築をテーマに関連分野の研究指導を行う。 （96　戸部　和弘） ミューオン異常磁気能率のアノマリーを説明する新物理の現象論的研究を中心に素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理分野での研究指導を行う。	

（97　早川　雅司）
　ミュー粒子の異常磁気能率におけるQCD力学の格子計算方法の開拓やゲージ理論の量子論的力学の解明を課題に研究指導を行う。

（98　南部　保貞）
　ブラックホール時空における波動光学効果とその観測的検証を課題にインフレーション、繰り込み群、再加熱、非一様宇宙 非線形効果をキーワードに研究指導を行う。

（99　柳　哲文）
　非線型,非摂動的な非一様性が観測に与える影響についての研究を中心に素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理の分野で研究指導を行う。

（100　堀井　泰之）
　ビー中間子のタウ・ニュー崩壊を用いた新しい物理の探索を課題にタウ、荷電ヒッグス、ニュートリノ関連の研究指導を行う。

（101　戸本　誠）
　エネルギーフロンティア加速器実験を使った実験を通して、新素粒子の発見、ヒッグス粒子の性質の解明、トップクォークの物理などに関して研究指導を行う。

（102　松浦　能行）
　細胞内輸送・オルガネラダイナミクス・病原体感染現象の構造生物学を中心に関連分野の研究指導を行う。

（103　金田　英宏）
　遠赤外[CII]輝線の高解像度広域マッピングによる大質量星形成環境の理解を課題に天文学の分野で研究指導を行う。

（104　山本　宏昭）
　太陽系近傍領域の星間ガスの全容の解明を課題として、ガンマ線、分子雲、超新星残骸などの切り口で研究を推進し、関連分野の研究を行う。

（105　澤田　均）
　受精に関与する精子細胞外ユビキチン-プロテアソーム系に関する研究を中心に生物系薬学 機能生物化学の分野で研究指導を行う。

（106　荒木　聡彦）
ADAM型出血毒素による新規の信号伝達と細胞機能の解明を課題に動物生理・代謝 生物系薬学の分野で研究指導を行う。

（107　野口　巧）
光合成による光エネルギー変換：光駆動電子移動の分子制御機構の解明を課題として関連分野での研究指導を行う。

（108　神山　勉）
レチナール蛋白質の高次構造と機能を中心に生物物理学 生体物性学 分子遺伝学・分子生理学の分野で研究指導を行う。

（109　三野　広幸）
非選択励起多周波混合パルスＥＰＲ法によるタンパク質の構造解明を主なテーマとして、生物物理学 物理化学 構造生物化学関連分野での研究指導を行う。

（110　加藤　祐樹）
光合成水分解触媒マンガンクラスターの酸化還元特性の解明をテーマに物理化学分野での研究指導を行う。

（111　鈴木　直哉）
神経伝達物質放出と放出量調節機構の解明(放出過程とイオン動態の可視化）を中心テーマに物理生物化学の分野で研究指導を行う、

（112　阿波賀　邦夫）
開殻化合物を用いる新しい有機エレクトロニクスの発展を課題に機能・物性・材料、機能物質化学の分野で研究指導を行う。

（113　松下　未知雄）
有機ラジカルのスピンに基づく単一分子スピントロニクスを中心的なテーマに関連分野での研究指導を行う。

（114　宮崎　州正）
ガラスにおける遅いゆらぎのダイナミクスと隠れた秩序やガラス転移とジャミング転移の平均場描像の確立を課題に関連分野の研究指導を行う。

（115　寺﨑　一郎）
パラジウム酸化物におけるエキゾチック超伝導とスピンギャップレス半導体の探索等を課題に強相関電子系、電荷秩序、磁性、磁気伝導関連の研究指導を行う。

（116　伊藤　正行）
軌道分解核磁気共鳴法の開発と軌道状態の観測等を主なテーマにNMR、遷移金属酸化物、強相関電子系、電荷秩序、スピン状態をキーワードとした研究指導を行う。

（117　谷口　博基）
革新的光応答機能性誘電体の創製を主なテーマに無機材料・物性の分野で研究指導を行う。

（118　小林　義明）
鉄系超伝導体における局所軌道状態の観測と電子物性への役割の解明を課題に関連分野での研究指導を行う。

（119　田辺　賢士）
マグノニクス創出に向けたマグノンの2次元的制御を主なテーマとして、ナノ構造物理関連の研究指導を行う。

（120　木村　明洋）
励起移動理論の構築と光合成光捕集系への適用を主な研究内容とし、生物物理、化学物理の分野で研究指導を行う。

（121　紺谷　浩）
高温超伝導体、重い電子系などの強相関電子系の理論的研究、量子臨界現象、（量子）輸送現象など物性理論の分野で研究指導を行う。

（122　河野　浩）
スピン軌道相互作用の生む新しい磁性体スピントロニクス現象の微視的理論を主なテーマにスピントロニクス、スピントルク、磁壁、スピン流といったキーワードで表現される分野での研究指導を行う。

（123　清水　康弘）
光検出磁気共鳴を用いた新しい磁気測定法の開発や軌道選択モット転移と軌道液体の実験研究を課題に超伝導、核磁気共鳴等をキーワードとする領域について研究指導を行う。

（124　出口　和彦）
　準結晶で発現する強相関電子現象の研究、準結晶の量子臨界現象の一軸圧力効果を研究対象に関連分野での研究指導を行う。

（125　土射津　昌久）
　分子凝縮系の分子内自由度と伝導特性を中心に電荷秩序、物性理論、強相関電子系等ををキーワードとする分野の研究指導を行う。

（126　小林　晃人）
　有機導体のディラック電子系における異常物性の統一的解明をテーマに電荷秩序、ディラック電子、強相関電子系のの研究指導を行う。

（127　三浦　裕一）
　大学で学生に自主的に企画させる物理学体験学習と評価法の開発や臨界点近傍における潜熱対流による異常な温度分布の検証をテーマに分野で研究指導を行う。

（128　篠原　久典）
　原子ナノワイヤー内包ナノチューブの創製と物性探索等を中心的課題とし、物理化学、構造化学関連の分野で研究指導を行う。

（129　伏谷　瑞穂）
　星間物質の分子進化の解明を目指した超高速分光システムの構築をテーマに分子軌道イメージング等の手法を用いて地球宇宙化学、物理化学の領域で研究指導を行う。

（130　深澤（中）　愛子）
　時間的反応集積化に基づく含ホスホール機能材料の開発を中心的課題に有機化学分野の研究指導を行う。

（131　北浦　良）
　原子層における超伝導探索を課題に物理化学、機能物質化学、ナノ材料化学の分野で研究指導を行う。

（132　松田　晃孝）
　レーザー波形整形による化学反応制御を研究テーマに主に、強レーザー場、超高速レーザー分光等の関連分野で研究指導を行う。

（133　佐藤　憲昭）
準周期性と電子相関の協奏によって形成される新しい量子状態の研究を中心に固体物性、固体物性II(磁性・金属・低温)分野の手法を用いて研究指導を行う。

（134　和田　信雄）
ナノ多孔体中新規ヘリウム量子流体の基底状態解明や1次元ボースおよびフェルミ流体の量子物性を主な研究テーマに比熱、ヘリウム、超流動、吸着圧力、ボース・アインシュタイン凝縮といったキーワード周辺の分野において研究指導を行う。

（135　槇　亙介）
物理化学に基づく球状蛋白質の動態解析や球状蛋白質のフォールディング自由エネルギー地形と中間体構造アンサンブルの探索を研究課題に生物物理学の分野で研究指導を行う。

（136　川﨑　猛史）
変形の効果を取り入れた粒子の分散系における流動特性をテーマに生物物理・化学物理・ソフトマターの物理の手法を用いて研究指導を行う。

（137　井村　敬一郎）
絶縁体・金属転移近傍に現れるエキシトンボーズ凝縮の研究をテーマに磁性、磁気共鳴、強相関係等のアプローチから研究指導を行う。

（138　岡本　祐幸）
生体分子集団および人工分子集団の相互作用と大規模構造転換や拡張アンサンブル法による蛋白質への小分子結合機構の研究を中心に生物物理学の分野で研究指導を行う。

（139　倭　剛久）
多自由度・大規模系における反応と構造空間探索を課題に コンピューティクスによる物質デザインの手法等を用いて研究指導を行う。

（140　永井　哲郎）
生体分子シミュレーションの最適な条件探索を中心的な研究課題に計算科学の分野で研究指導を行う。

（141　田中　健太郎）
自己組織化により次元制御した分子空間の分子組織化学、細胞間コミュニケーションを指向した1次元MOFによる細胞膜間物質輸送系の構築等を研究課題に無機化学、化学系薬学、機能物質化学の分野で研究指導を行う。

（142　河野　慎一郎）
　ナノポーラス液晶を鋳型とする機能性ナノ周期組織の創製や金属錯体型ナノポーラス液晶の創製を課題に機能物性化学、無機化学の分野で研究指導を行う。

（143　荘司　長三）
　外部添加因子による生体触媒反応場の制御と高難度物質変換や変性蛋白質の自己集合状態を利用する新規機能性蛋白質の開発をテーマに生体関連化学の分野を中心に研究指導を行う。

（144　大木　靖弘）
　非在来型-金属硫黄クラスターの構造モデル創製と性質やサイズ・構造に分布のない分子性金属ナノ粒子の創製をテーマに無機化学の関連分野で研究指導を行う。

（145　松井　公佑）
　先進的キャラクタリゼーションによる材料設計を課題がに放射光科学、表面科学、触媒化学の分野で研究指導を行う。

（146　愛場　雄一郎）
　ヘム獲得タンパク質を対象としたケミカルバイオロジー、人工核酸を利用した遺伝子発現制御技術の開発、
新規人工核酸の開発と応用等を研究課題に核酸化学、ケミカルバイオロジー、分子生物学の分野から研究指導を行う。

（147　邨次　智）
　触媒ポケットによる高安定化を目指したカーボン表面孤立化Ptナノクラスターの創製を主な研究内容とし、無機化学の分野から研究指導を行う。

（148　阿部　洋）
　GSTを標的とする分子プローブの開発やナノ構造化と鋳型反応に基づくRNAの医薬機能創発を研究課題に生物機能・バイオプロセスを用いて研究指導を行う。

（149　斎藤　進）
　新触媒活性種「分子表面触媒」を用いる不活性アミドの水素化の深化を課題に合成化学、有機工業化学、有機化学の分野で研究指導を行う。

（150　山口　潤一郎）
　革新的直接カップリング反応を促進する二官能性触媒の創製を中心敵課題に有機化学の分野で研究指導を行う。

（151　木村　康明）
　核酸のケミカルバイオロジーや生理活性物質の設計と合成を中心課題に生物有機化学、医薬化学、有機合成化学の分野で研究指導を行う。

（152　唯（邨次）　美津木）
　硬X線XAFSイメージング分光による固体触媒ミクロ構造と反応性の可視化を中心課題に物理化学の分野で触媒・資源化学プロセスを用いて研究指導を行う。

（153　菱川　明栄）
　レーザーフィラメントによる微粒子形成過程の解明、強レーザー反応場中分子の「その場」観測等を中心的な研究課題に、超高速光電子分光法によるアプローチ等を駆使して研究指導を行う。

（154　山田　泰之）
　ロタキサン型ポルフィリンーフタロシアニンスタッキングアレイの構築と機能化等を主なテーマに無機化学の分野で研究指導を行う。

（155　髙木　秀夫）
　量子論に基づいて旧来の「化学反応論」を再構築するとともに、生体内化学反応をはじめとする様々な化学反応の機構を物理学的理論に基づいて解明することを大きなテーマに関連分野での研究指導を行う。

（156　大町　遼）
　カーボンナノチューブにおける新規ラジカル反応の開発と機能性ナノカーボンの創出を主な課題にナノ材料化学、数学解析、有機化学の分野で研究指導を行う。

（157　友池　史明）
　生物分子化学、機能生物化学のアプローチにより、バクテリア内膜を固定したデバイスによるトランスロコン解析等を課題にして研究指導を行う。

（158　村上　慧）
　新触媒を用いる芳香環コアの位置選択的なヘテロ官能基化を中心テーマに合成化学、有機化学の視点から研究指導を行う。

（159　齊藤　尚平）
　多分子協調場としてのフレキシブル光応答分子の機能集合システム構築や機能性可視化剤としての柔軟な発光分子の開発とマテリアルイメージング技術の確立を目指し、関連分野での研究指導を行う。

（160　中　寛史）
高効率水和触媒の創出を指向した遷移状態制御化学の開拓やアルコールの光触媒変換を鍵とする有機合成反応の開発を中心に合成化学、化学系薬学的手法で研究指導を行う。

（161　田中　慎二）
新規光学活性ピコリン酸型配位子の開発と不斉触媒反応への展開を中心とした研究を進め、合成化学、有機化学関連の研究指導を行う。

（162　中村　光廣）
オペラ検出器によるニュートリノの研究、原子核乾板による暗黒物質の検出等を中心に据え、素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理の分野で研究指導を行う。

（163　佐藤　修）
原子核乾板における低エネルギー電子飛跡の高速自動同定等を課題にニュートリノ、素粒子実験、チャーム粒子をキーワードとして研究指導を行う。

（164　伊藤　英人）
自在π拡張反応の開発とグラフェンナノリボン合成への応用を研究課題として、主に合成化学の分野で研究指導を行う。

（165　張　中岳）
リチウム電池に利用できる有機金属を骨格に持つ活性カソードの研究を中心に機能物性化学の手法を用いて研究指導を行う。

（166　TAMA Florence Muriel）
多様な実験データから生体分子の構造モデルを構築するツールの開発、生体分子の運動を実験データから理解する手法の開発、実験研究グループや製薬企業と連携しての生体分子機能の研究等を課題に、計算的手法や実験データを駆使して分子生物、遺伝学の分野で研究指導を行う。

（167　石橋　和紀）
紫外線／赤外線でのEta Carinae観測:変化する恒星風の包括的検証を中心課題に天文学の分野について研究指導を行う。

（168　森　郁恵）
ROS産生酵素による寿命延長機構の解明や光遺伝学による神経回路と行動の解析を研究課題に遺伝・ゲノム動態、遺伝学の観点から研究指導を行う。

（169　中野　俊詩）
選択的姉妹染色体分配を介した左右非対称性決定機構の解析を中心テーマに発生生物学的手法を用いて研究指導を行う。

（170　鈴木　孝幸）
発生生物学の分野でトップダウンアプローチによる階層を超える形態形成の理解を目指し、関連分野での研究指導を行う。

（171　村上（村瀬）　緑）
無脊椎動物の視覚情報変換・伝達の構造基盤や無脊椎動物ロドプシンの光活性化機構の解明を中心テーマに生物物理学、構造生物化学の手法を用いて研究指導を行う。

（172　松下　琢）
ナノ細孔内に形成した１次元ヘリウム３流体の量子状態の解明を中心に1次元フェルミ流体、比熱、核磁気共鳴をキーワードに関連分野での研究指導を行う。

（173　下川　淳）
中枢神経疾患の理解と治療を目指したエリスリナアルカロイド類縁体の網羅的合成研究を中心テーマとして、化学系薬学の分野で研究指導を行う。

（174　奥村　暁）
大気チェレンコフ光の収集効率改善による次世代ガンマ線望遠鏡CTAの高感度化や世界最高の角度分解能を持つ光学望遠鏡の実現を目指し、素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理分野での研究指導を行う。

（175　西山　朋子）
細胞周期依存的なコヒーシン一分子ダイナミクスの解析を中心的課題に分子生物学の観点から研究指導を行う。

（176　山川　洋一）
シリコン原子空孔における強相関・強結合量子状態等をテーマに原子・分子・量子エレクトロニクスの分野で研究指導を行う。

（177　深川　美里）
原始惑星系円盤の時間変動の詳細観測を中心に、光学赤外線天文学、原始惑星系円盤、光赤外線天文学などのキーワードで表わされる関連分野の研究指導を行う。

				(178　田中　実) 配偶子形成初期過程の機構解析や生殖腺の性差構築と維持機構の解明を目指し、発生生物学、生物形態・構造の観点から兼企画を行う。 (179　白石　洋一) 組込みソフトウェア開発支援環境の研究や並列計算環境上の超大規模組合せ最適化基本技術の研究等を中心に知能情報学の観点から今日を行う。 (180　西村　俊哉) 生殖細胞による体細胞のメス化メカニズムの解明を中心課題に形態・構造学の分野で研究指導を行う。 (181　鈴木　仁研) 天文衛星搭載に向けたSISフォトン検出器の超高感度化等を中心課題に、天文学の分野で研究指導を行う。	
		エディンバラ大学	研究指導	(1　Neil Robertson) 分子材料、色素増感太陽電池、発光体物質、伝導性/磁性材料の分野で研究指導を行う。 (2　Scott L. Cockroft) 物理有機化学、化学分子認識、非結合性相互作用、超分子化学、単分子生物物理学、分子機械の分野で研究指導を行う。 (3　Dominic Campopiano) 産業用生体触媒作用、天然物生合成、酵素学、タンパク質の構造、抗生物質学、先天性免疫酵素阻害物質の分野で研究指導を行う。 (4　Fabio Nudelman) 生体鉱物、有機・無機ハイブリッド物質、タンパク質結晶相互作用、低温電子顕微鏡観察、ソフトマターの分野で研究指導を行う。 (5　Paul Lusby) 超分子化学、合成配位化学、メタロ超分子化学、分子機械及び発動機、機能的自己組織器官の分野で研究指導を行う。	

(6　Stephen A. Moggach)
　高圧結晶学、多孔質ペプチド、有機金属骨格(MOF)の分野で研究指導を行う。

(7　Eleanor E. B. Campbell)
　物理化学、フラーレンと原子クラスターの気相研究;成長メカニズム、カーボンナノチューブの特性とその応用の分野で研究指導を行う。

(8　Kevin Hardwick)
　細胞有糸分裂、紡錘体チェックポイントの作用機序分析の分野で研究指導を行う。

(9　Hiro Ohkura)
　染色体分離組織の作成方法の分野で研究指導を行う。

(10　Steven Spoel)
　プロテアソームを介した転写、酸化還元シグナル伝達の分野で研究指導を行う。

(11　Naomi Nakayama)
　分子植物科学、システム生物学、合成生物学の分野で研究指導を行う。

(12　Patrick Cai)
　生体内感知装置における無細胞遺伝子ネットワーク成長、合成生物学の分野で研究指導を行う。

(13　Irina Stancheva)
　遺伝子発現のエピジェネティック調節の分野で研究指導を行う。

(14　Andrew Liddle)
　宇宙のインフレーション、宇宙マイクロ波背景放射、暗黒エネルギーの分野で研究指導を行う。

				(15　John Peacock) 　天文学理論、観測宇宙論、銀河形成及びその発生、活動銀河の発生、重力の水晶体の分野で研究指導を行う。 (16　Franz Muheim) 　実験的素粒子物理学、重フレーバ物理学の分野で研究指導を行う。 (17　Luigi Del Debbio) 　場の量子論、場の理論における非摂動的側面、量子色力学の分野で研究指導を行う。 (18　Cait MacPhee) 　生命体における物理学、生命科学、タンパク質の性質、ソフトマター物理学の分野で研究指導を行う。 (19　Martin Evans) 　生命体における物理学、統計物理学、非平衡統計力学の分野で研究指導を行う。	

別記様式第２号（その３の３）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

授業科目の概要（国際連携学科等）

（理学研究科　名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻）（名古屋大学）

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	名古屋大学	研究指導	（概要） 理学領域の多様な専門分野に関して、研究の実践、指導を行い、研究課題について論文指導を行う。 （1　東山　哲也） 植物生殖における鍵分子の同定を中心に研究を行い、植物生殖、ペプチド、マイクロゲノミクス、細胞操作、ライブイメージングに関する研究指導を行う。 （2　伊丹　健一郎） 有機合成アプローチの一つである「C-Hカップリング」を実現するユニークかつ高活性な触媒開発を取り上げ、合成指向型の触媒開発研究の指導を行う。 （3　木下　俊則） オーキシンやブラシノステロイドによる植物の成長の分子機構の解明関する研究を行い、植物分子生物学、植物ケミカルバイオロジー、気孔、オーキシン、植物成長をテーマとした研究指導を行う。 （4　山口　茂弘） 典型元素の特徴を活かした分子設計指針の提案と新規な合成手法の開発の両方からのアプローチにより多様な優れた機能性分子の創出を中心に、蛍光分子、分子デザイン、物理有機化学に関する研究指導を行う。 （5　IRLE STHEPHAN） 極限条件下における、量子化学分子動力学法の複雑系への応用化学反応や各種物質の分子特性に関する研究を取り上げ、量子化学、ナノマテリアル科学に関する課題の研究指導を行う。 （6　多田　安臣） 無細胞タンパク質合成、転写因子、エンバク葉枯病菌、複合体解析、植物免疫応答、特異性決定因子等を取り上げ、植物病理学、植物の環境感覚、植物保護科学、植物分子・生理科学等の分野で研究指導を行う。	

（7　杉田　護）
オルガネラ遺伝子の発現を制御する分子メカニズムの解明を中心に、色素体、ミトコンドリア、レトログレードシグナリング、RNA編集、シアノバクテリア、オルガネラの起源等に関する課題の研究指導を行う。

（8　井原　邦夫）
X線結晶構造解析、古細菌、バクテリオロドプシン、ハロロドプシン、好塩菌、イオンポンプをキーワードに、生物物理学 膜超分子モ-タ-の革新的ナノサイエンス分野の課題に関する研究指導を行う。

（9　松尾　拓哉）
単細胞真核生物である緑藻クラミドモナスを時計遺伝子研究の新しいモデル系として確立し、概日時計のメカニズムや概日時計を構成する遺伝子の課題に関する研究指導を行う。

（10　伊藤　好孝）
ニュートリノ、宇宙線、スーパーカミオカンデ、ニュートリノ振動、陽子崩壊、素粒子実験等をキーワードに、素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理分野の課題に関する研究指導を行う。

（11　塩　隆志）
宇宙線、LHC加速器、最高エネルギー宇宙線、ハドロン相互作用、加速器、太陽中性子等をキーワードに、素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理分野の課題に関する研究指導を行う。

（12　松原　豊）
高感度宇宙放射線測定装置による太陽中性子の観測等をテーマに、主に宇宙線物理学分野の課題に関する研究指導を行う。

（13　増田　公明）
宇宙線が地球に与える影響や放射性炭素測定法を用いて観測される太陽活動における研究を中心に、主に宇宙線物理学、放射線物理学分野の課題に関する研究指導を行う。

（14　水野　亮）
太陽極大期の高エネルギー粒子が大気に及ぼす影響やチリ共和国アタカマにおける成層圏・中間圏の水蒸気同位体およびオゾン等における研究を中心に、主に天文学、気象・海洋物理・陸水学、超高層物理学分野に関する研究指導を行う。

（15　中山　智喜）
大気微量成分およびエアロゾルの高感度計測装置の開発と大気計測への応用や分光学的手法を用いた大気化学反応過程の実験的研究を主に、大気エアロゾルやその光学特性に関する研究指導を行う。

（16　長濵　智生）
　磁気圏加速電子との相互作用による大気微量分子の組成変動機構の観測的研究を主に、気象・海洋物理・陸水学、超高層物理学の分野に関する研究指導を行う。

（17　増田　智）
　地球に影響を与える太陽活動現象の研究、 具体的には以下のような現象の研究を主に、太陽物理学、とくに太陽フレア、CME、高エネルギー粒子加速機構、太陽活動現象と惑星間空間擾乱の関係に関する研究指導を行う。

（18　家田　章正）
　異なる領域のデータを組合わせることで、オーロラ爆発のメカニズム等の解明を中心に、オーロラ科学、太陽地球系電磁気学に関する研究指導を行う。

（19　徳丸　宗利）
　ＩＰＳ観測を用いて太陽風の加速と擾乱スペクトルについての研究、太陽風中のＣＭＥの3次元構造と伝搬の研究、トモグラフィー解析法を用いた太陽風予報の研究、太陽風構造の長期変動に関する研究を行っており、惑星間空間物理学、宇宙空間物理学、電波天文学に関する研究指導を行う。

（20　藤木　謙一）
　太陽風、CME、惑星間空間シンチレーション、電波観測、加速機構、惑星間空間衝撃波などをキーワードに、太陽物理学、太陽風物理学の分野に関する研究指導を行う。

（21　平原　聖文）
　磁気圏加速電子との相互作用による大気微量分子の組成変動機構の観測的研究を主に、気象・海洋物理・陸水学、超高層物理学の分野に関する研究指導を行う。

（22　大山　伸一郎）
脈動オーロラが起こす熱圏風速変動の解明を課題に超高層物理学の分野で研究指導を行う。

（23　大塚　雄一）
電離圏・熱圏の春・秋非対称性やGPSシンチレーション観測による極域電離圏イレギュラリティの研究を中心に超高層物理学に関する研究指導を行う。

（24　野澤　悟徳）
北極域拠点観測による大気上下結合の研究やレーダー観測とシミュレーションによる北極域下部熱圏-中間圏結合の解明を課題として超高層物理学関連の研究指導を行う。

				（25　塩川　和夫） 人工衛星における地上ネットワーク観測に基づく内部磁気圏の粒子変動メカニズムの研究をテーマに大気重力波、オーロラ、国際情報交換、磁気嵐等のキーワードを取り巻く分野での研究指導を行う。 （26　草野　完也） 太陽地球圏環境予測における国際連携研究の推進を最新の研究課題にプラズマ理工学、天文学の分野で研究指導を行う。 （27　阿部　文雄） MOA II 1.8m望遠鏡による重力波天体の追観測や広視野望遠鏡を利用した重力波天体の光学観測を中心に素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理の分野で研究指導を行う。 （28　田島　宏康） 宇宙ガンマ線観測による銀河中心におけるダークマター探査を主な研究課題に素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理に関連した研究指導を行う。 （29　松見　豊） レーザー分光同位体計測計を用いた大気環境の動態解明を中心課題に環境動態解析や物理化学、構造化学といったキーワードに代表される分野での研究指導を行う。 （30　市來　淨與） 電波による中性水素探査を用いた銀河および宇宙大規模構造の起源と進化の解明を中心に素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理の分野で研究指導を行う。 （31　久野　純治） テラスケールの素粒子模型と暗黒物質の正体の解明やテラスケール物理における世代構造の研究を中心に素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理の分野で研究指導を行う。 （32　野中　千穂） QCD相図の包括的な研究ー基礎論と現象論から探る重イオン衝突の物理やQCD相転移機構・QGP状態の多角的な研究ーRHIC・LHC物理理解といった課題を掲げ、素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理の分野で研究指導を行う。 （33　前川　展祐） 自然な大統一理論における宇宙史の構築と実験からの制限を最新の研究課題に素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理の分野で研究指導を行う。	

（34　飯嶋　徹）
チェレンコフ光を用いた高時間分解能TOF-PET装置の開発、タウレプトンをプローブとする新物理探索を中心課題に素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理関連の分野で研究指導を行う。

（35　北口　雅暁）
大強度パルス中性子に対応した中性子干渉光学素子の高性能化を課題に応用物理学一般の研究指導を行う。

（36　松本　浩典）
新素材と新レプリカ法による軽量高角度分解能反射鏡の開発を最新の研究課題として天文学関連の分野で研究指導を行う。

（37　日比　正彦）
　脊椎動物の体軸形成と神経高次構造形成の解析を課題に動物器官機能学の分野で研究指導を行う。

（38　清水　貴史）
　高次神経組織構形成とその機能発現機構の解析をテーマに動物器官機能学の分野で研究指導を行う。

（39　橋本　寿史）
　神経堤細胞の分化機構とメダカの遺伝学をテーマに動物器官機能学の分野で研究指導を行う。

（40　北村　雅人）
　触媒的不斉全合成、環境調和型触媒反応、機構解明、非天然ペプチド・核酸を中心テーマに有機合成化学の分野で研究指導を行う。

（41　五島　剛太）
　微小管と細胞分裂をテーマに染色体分配装置の再構成や非対称分裂時の細胞板配置機構の解明等を課題に研究指導を行う。

（42　金岡　雅浩）
　花粉管ガイダンス分子の作用機構と分子進化をテーマに関連する研究分野の研究指導を行う。

（43　佐々木（東山）　成江）
　ミトコンドリア核様体の分子構築を中心的課題として研究指導を行う。

（44　渡邉　定則）
　多細胞発生時の細胞分裂機構を中心的なテーマに関連する研究分野での研究指導を行う。

（45　清光　智美）
　紡錘体配置の仕組みを中心テーマに研究指導を行う。

（46　上川内（竹内）　あづさ）
　聴覚情報処理システムの動作原理の解明を課題に脳回路構造学の分野で研究指導を行う。

（47　松林　嘉克）
　植物のかたちづくりを担う細胞間シグナルの探索と解析を課題を中心に関連するテーマでの研究指導を行う。

（48　杉山　伸）
　巨大ミトコンドリアの背景にある機構をテーマに研究指導を行う。

（49　吉岡　泰）
　植物発生生長に関与するオルガネラ機能を中心に研究指導を行う。

（50　髙木　新）
　セマフォリン・プレキシン系の情報伝達機構のテーマで研究指導を行う。

（51　篠原　秀文）
　細胞間シグナルの受容体探索と解析を主なテーマとして研究指導を行う。

（52　八木　克将）
　ショウジョウバエ自然免疫の分子機構を中心に研究指導を行う。

（53　木下　専）
　表現型制御機構としての細胞骨格系とその破綻による疾患感受性を主なテーマに研究指導を行う。

（54　嘉村　巧）
　ユビキチンシステムによるタンパク質分解機構の解明をテーマに論文・研究指導を行う。

（55　石原（上田）　奈津実）
　セプチンによるドーパミン神経伝達機構の制御などシグナル伝達や細胞制御に関する研究指導を行う。

（56　中務　邦雄）
　オルガネラの恒常性維持におけるタンパク質修飾システムをテーマに研究指導を行う。

（57　進藤　麻子）
　細胞生物学や発生生物学の観点から、細胞の不均一性を基盤とした組織形態形成のメカニズムの解明を中心に研究指導を行う。

（58　奥村　文彦）
　ユビキチン様分子ＩＳＧ１５依存性タンパク質翻訳制御と自然免疫応答の関連性の解析を中心に研究指導を行う。

（59　平子　善章）
　細胞・基質間接着と組織構築をキーワードに組織の分化や再生に果たす細胞・基質間接着の役割を解明について研究指導を行う。

（60　井上　晋一郎）
　光受容体を介した植物の光応答とそのシグナル伝達を中心に研究指導を行う。

				(61　髙橋　宏二) 植物の細胞伸長制御におけるシグナル伝達機構をテーマに研究指導を行う。 (62　塚田　祐基) 神経回路における動的な情報処理機構の解明することを目標に研究指導を行う。 (63　黒岩　厚) ―脊椎動物の発生における形態形成の遺伝子的制御機構をテーマに研究指導を行う。 (64　松本　邦弘) 生物の発生・細胞分化を制御する情報伝達機構について研究指導を行う。 (65　花房　洋) Xenopus初期胚及び哺乳動物細胞を用いた情報伝達機構解析をテーマに研究指導を行う。 (66　久本　直毅) 植物における環境応答のシグナル伝達機構を中心に研究指導を行う。 (67　本間　道夫) 細菌べん毛モーターのエネルギー変換機構と回転制御機構に関する研究指導を行う。 (68　瀧口　金吾) 生体膜の動態の分子制御機構について研究指導を行う。 (69　成田　哲博) クライオ電子顕微鏡による細胞骨格・モーター蛋白質の構造研究をテーマに研究指導を行う。	

（70　小嶋　誠司）
　細菌べん毛モーター回転の分子機構を中心に研究指導を行う。

（71　大隅　圭太）
　卵表層の機能・構造制御の研究を中心に研究指導を行う。

（72　北山　陽子）
　概日リズムの分子機構をテーマに研究指導を行う。

（73　岩渕（大隅）　万里）
　核の分化能制御の研究を中心に研究指導を行う。

（74　赤坂（大川内）　茉莉）
　卵成熟期における細胞表層リモデリングの分子基盤をテーマに研究指導を行う。

（75　金森　章）
　小型魚で生殖巣性分化機構を探ることをテーマに研究指導を行う。

（76　原田　正康）
　ホログラフィックＱＣＤ模型を用いた有限密度ＱＣＤの探究をテーマに素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理分野で研究指導を行う。

（77　居波　賢二）
　10ps時間分解能TOF検出器の開発などをテーマに 素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理で研究指導を行う。

（78　酒井　忠勝）
　ゲージ理論と弦理論の非摂動効果に関する研究を中心に素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理の分野で研究指導を行う。

（79　杉山　直）
　ダークエネルギーの理論モデル構築とその観測的検証や宇宙磁場の生成と構造形成に及ぼす影響を課題に関連する分野での研究指導を行う。

（80　田原　譲）
　暗黒物質探査用X線光学システムの構築可能性評価等を課題に天文学、宇宙物理学の分野で研究指導を行う。

（81　中野　敏行）
　原子核乾板、ニュートリノ、顕微鏡、暗黒物質、ガンマ線をキーワードに関連する分野の研究指導を行う。

（82　松原　隆彦）
　宇宙の大規模構造における天体バイアスの統計的研究を中心テーマに研究指導を行う。

（83　三石　郁之）
　GCIBを利用した独自の超軽量X線望遠鏡の角度分解能の改善を課題として関連分野の研究指導を行う。

（84　大薮　進喜）
　赤外線天文衛星「あかり」中間赤外線サーベイによる隠された活動銀河核探査を中心に天文学関連の研究指導を行う。

（85　渡邉　智彦）
　プラズマ非線形現象について、理論と計算機シミュレーションを使った研究を中心に研究指導を行う。

（86　清水　裕彦）
　熱外中性子速度選別器の基礎研究を中心に中性子を用いた素粒子・原子核物理実験を行っており、関連分野の研究指導を行う。

（87　前山　伸也）
　マルチスケールプラズマ乱流におけるミクロメゾスケール渦の形成・消失過程の解明を課題にプラズマ科学関連の研究指導を行う。

（88　犬塚　修一郎）
星形成理論の展開や原始惑星系円盤における弱電離プラズマ素過程と惑星形成過程の理論的研究を中心に天文学の分野で研究指導を行う。

（89　福井　康雄）
星間水素の精密定量による新たな星間物質像の構築や星間物質の精査によるガンマ線超新星残骸の探求などを課題に天文学の分野で研究指導を行う。

（90　鈴木　建）
高解像度大局数値実験による、降着円盤、天体風における磁気流体乱流過程の研究を中心に天文学分野の研究指導を行う。

（91　竹内　努）
宇宙暗黒時代から現在に至る統一的銀河スペクトル進化モデルの構築や化学進化を整合的に取り入れた銀河のSEDモデル構築をテーマに研究指導を行う。

（92　立原　研悟）
電波天文学、星間磁場、電波観測、星間乱流、星形成、星間物質をキーワードに電波天文学の分野で研究指導を行う。

（93　小林　浩）
ダスト、惑星形成、系外惑星、惑星、デブリ円盤をキーワードに天文学関連分野の研究指導を行う。

（94　棚橋　誠治）
ヒッグス結合の精密測定から探る標準模型を超える物理を課題に素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理関連分野で研究指導を行う。

（95　野尻　伸一）
拡張された重力理論に基づく宇宙の歴史を再現する模型の構築をテーマに関連分野の研究指導を行う。

（96　戸部　和弘）
ミューオン異常磁気能率のアノマリーを説明する新物理の現象論的研究を中心に素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理分野での研究指導を行う。

（97　早川　雅司）
　ミュー粒子の異常磁気能率におけるQCD力学の格子計算方法の開拓やゲージ理論の量子論的力学の解明を課題に研究指導を行う。

（98　南部　保貞）
　ブラックホール時空における波動光学効果とその観測的検証を課題にインフレーション、繰り込み群、再加熱、非一様宇宙 非線形効果をキーワードに研究指導を行う。

（99　柳　哲文）
　非線型,非摂動的な非一様性が観測に与える影響についての研究を中心に素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理の分野で研究指導を行う。

（100　堀井　泰之）
　ビー中間子のタウ・ニュー崩壊を用いた新しい物理の探索を課題にタウ、荷電ヒッグス、ニュートリノ関連の研究指導を行う。

（101　戸本　誠）
　エネルギーフロンティア加速器実験を使った実験を通して、新素粒子の発見、ヒッグス粒子の性質の解明、トップクォークの物理などに関して研究指導を行う。

（102　松浦　能行）
　細胞内輸送・オルガネラダイナミクス・病原体感染現象の構造生物学を中心に関連分野の研究指導を行う。

（103　金田　英宏）
　遠赤外[CII]輝線の高解像度広域マッピングによる大質量星形成環境の理解を課題に天文学の分野で研究指導を行う。

（104　山本　宏昭）
　太陽系近傍領域の星間ガスの全容の解明を課題として、ガンマ線、分子雲、超新星残骸などの切り口で研究を推進し、関連分野の研究を行う。

（105　澤田　均）
　受精に関与する精子細胞外ユビキチン-プロテアソーム系に関する研究を中心に生物系薬学 機能生物化学の分野で研究指導を行う。

（106　荒木　聡彦）
ADAM型出血毒素による新規の信号伝達と細胞機能の解明を課題に動物生理・代謝 生物系薬学の分野で研究指導を行う。

（107　野口　巧）
光合成による光エネルギー変換：光駆動電子移動の分子制御機構の解明を課題として関連分野での研究指導を行う。

（108　神山　勉）
レチナール蛋白質の高次構造と機能を中心に生物物理学 生体物性学 分子遺伝学・分子生理学の分野で研究指導を行う。

（109　三野　広幸）
非選択励起多周波混合パルスＥＰＲ法によるタンパク質の構造解明を主なテーマとして、生物物理学 物理化学 構造生物化学関連分野での研究指導を行う。

（110　加藤　祐樹）
光合成水分解触媒マンガンクラスターの酸化還元特性の解明をテーマに物理化学分野での研究指導を行う。

（111　鈴木　直哉）
神経伝達物質放出と放出量調節機構の解明(放出過程とイオン動態の可視化）を中心テーマに物理生物化学の分野で研究指導を行う、

（112　阿波賀　邦夫）
開殻化合物を用いる新しい有機エレクトロニクスの発展を課題に機能・物性・材料、機能物質化学の分野で研究指導を行う。

（113　松下　未知雄）
有機ラジカルのスピンに基づく単一分子スピントロニクスを中心的なテーマに関連分野での研究指導を行う。

（114　宮崎　州正）
ガラスにおける遅いゆらぎのダイナミクスと隠れた秩序やガラス転移とジャミング転移の平均場描像の確立を課題に関連分野の研究指導を行う。

（115　寺﨑　一郎）
パラジウム酸化物におけるエキゾチック超伝導とスピンギャップレス半導体の探索等を課題に強相関電子系、電荷秩序、磁性、磁気伝導関連の研究指導を行う。

（116　伊藤　正行）
軌道分解核磁気共鳴法の開発と軌道状態の観測等を主なテーマにNMR、遷移金属酸化物、強相関電子系、電荷秩序、スピン状態をキーワードとした研究指導を行う。

（117　谷口　博基）
革新的光応答機能性誘電体の創製を主なテーマに無機材料・物性の分野で研究指導を行う。

（118　小林　義明）
鉄系超伝導体における局所軌道状態の観測と電子物性への役割の解明を課題に関連分野での研究指導を行う。

（119　田辺　賢士）
マグノニクス創出に向けたマグノンの2次元的制御を主なテーマとして、ナノ構造物理関連の研究指導を行う。

（120　木村　明洋）
励起移動理論の構築と光合成光捕集系への適用を主な研究内容とし、生物物理、化学物理の分野で研究指導を行う。

（121　紺谷　浩）
高温超伝導体、重い電子系などの強相関電子系の理論的研究、量子臨界現象、（量子）輸送現象など物性理論の分野で研究指導を行う。

（122　河野　浩）
スピン軌道相互作用の生む新しい磁性体スピントロニクス現象の微視的理論を主なテーマにスピントロニクス、スピントルク、磁壁、スピン流といったキーワードで表現される分野での研究指導を行う。

（123　清水　康弘）
光検出磁気共鳴を用いた新しい磁気測定法の開発や軌道選択モット転移と軌道液体の実験研究を課題に超伝導、核磁気共鳴等をキーワードとする領域について研究指導を行う。

（124　出口　和彦）
　準結晶で発現する強相関電子現象の研究、準結晶の量子臨界現象の一軸圧力効果を研究対象に関連分野での研究指導を行う。

（125　土射津　昌久）
　分子凝縮系の分子内自由度と伝導特性を中心に電荷秩序、物性理論、強相関電子系等ををキーワードとする分野の研究指導を行う。

（126　小林　晃人）
　有機導体のディラック電子系における異常物性の統一的解明をテーマに電荷秩序、ディラック電子、強相関電子系のの研究指導を行う。

（127　三浦　裕一）
　大学で学生に自主的に企画させる物理学体験学習と評価法の開発や臨界点近傍における潜熱対流による異常な温度分布の検証をテーマに分野で研究指導を行う。

（128　篠原　久典）
　原子ナノワイヤー内包ナノチューブの創製と物性探索等を中心的課題とし、物理化学、構造化学関連の分野で研究指導を行う。

（129　伏谷　瑞穂）
　星間物質の分子進化の解明を目指した超高速分光システムの構築をテーマに分子軌道イメージング等の手法を用いて地球宇宙化学、物理化学の領域で研究指導を行う。

（130　深澤（中）　愛子）
　時間的反応集積化に基づく含ホスホール機能材料の開発を中心的課題に有機化学分野の研究指導を行う。

（131　北浦　良）
　原子層における超伝導探索を課題に物理化学、機能物質化学、ナノ材料化学の分野で研究指導を行う。

（132　松田　晃孝）
　レーザー波形整形による化学反応制御を研究テーマに主に、強レーザー場、超高速レーザー分光等の関連分野で研究指導を行う。

（133　佐藤　憲昭）
準周期性と電子相関の協奏によって形成される新しい量子状態の研究を中心に固体物性、固体物性II(磁性・金属・低温)分野の手法を用いて研究指導を行う。

（134　和田　信雄）
ナノ多孔体中新規ヘリウム量子流体の基底状態解明や1次元ボースおよびフェルミ流体の量子物性を主な研究テーマに比熱、ヘリウム、超流動、吸着圧力、ボース・アインシュタイン凝縮といったキーワード周辺の分野において研究指導を行う。

（135　槇　亙介）
物理化学に基づく球状蛋白質の動態解析や球状蛋白質のフォールディング自由エネルギー地形と中間体構造アンサンブルの探索を研究課題に生物物理学の分野で研究指導を行う。

（136　川﨑　猛史）
変形の効果を取り入れた粒子の分散系における流動特性をテーマに生物物理・化学物理・ソフトマターの物理の手法を用いて研究指導を行う。

（137　井村　敬一郎）
絶縁体・金属転移近傍に現れるエキシトンボーズ凝縮の研究をテーマに磁性、磁気共鳴、強相関係等のアプローチから研究指導を行う。

（138　岡本　祐幸）
生体分子集団および人工分子集団の相互作用と大規模構造転換や拡張アンサンブル法による蛋白質への小分子結合機構の研究を中心に生物物理学の分野で研究指導を行う。

（139　倭　剛久）
多自由度・大規模系における反応と構造空間探索を課題に コンピューティクスによる物質デザインの手法等を用いて研究指導を行う。

（140　永井　哲郎）
生体分子シミュレーションの最適な条件探索を中心的な研究課題に計算科学の分野で研究指導を行う。

（141　田中　健太郎）
自己組織化により次元制御した分子空間の分子組織化学、細胞間コミュニケーションを指向した1次元MOFによる細胞膜間物質輸送系の構築等を研究課題に無機化学、化学系薬学、機能物質化学の分野で研究指導を行う。

（142　河野　慎一郎）
　ナノポーラス液晶を鋳型とする機能性ナノ周期組織の創製や金属錯体型ナノポーラス液晶の創製を課題に機能物性化学、無機化学の分野で研究指導を行う。

（143　荘司　長三）
　外部添加因子による生体触媒反応場の制御と高難度物質変換や変性蛋白質の自己集合状態を利用する新規機能性蛋白質の開発をテーマに生体関連化学の分野を中心に研究指導を行う。

（144　大木　靖弘）
　非在来型-金属硫黄クラスターの構造モデル創製と性質やサイズ・構造に分布のない分子性金属ナノ粒子の創製をテーマに無機化学の関連分野で研究指導を行う。

（145　松井　公佑）
　先進的キャラクタリゼーションによる材料設計を課題がに放射光科学、表面科学、触媒化学の分野で研究指導を行う。

（146　愛場　雄一郎）
　ヘム獲得タンパク質を対象としたケミカルバイオロジー、人工核酸を利用した遺伝子発現制御技術の開発、
新規人工核酸の開発と応用等を研究課題に核酸化学、ケミカルバイオロジー、分子生物学の分野から研究指導を行う。

（147　邨次　智）
　触媒ポケットによる高安定化を目指したカーボン表面孤立化Ptナノクラスターの創製を主な研究内容とし、無機化学の分野から研究指導を行う。

（148　阿部　洋）
　GSTを標的とする分子プローブの開発やナノ構造化と鋳型反応に基づくRNAの医薬機能創発を研究課題に生物機能・バイオプロセスを用いて研究指導を行う。

（149　斎藤　進）
　新触媒活性種「分子表面触媒」を用いる不活性アミドの水素化の深化を課題に合成化学、有機工業化学、有機化学の分野で研究指導を行う。

（150　山口　潤一郎）
　革新的直接カップリング反応を促進する二官能性触媒の創製を中心敵課題に有機化学の分野で研究指導を行う。

（151　木村　康明）
　核酸のケミカルバイオロジーや生理活性物質の設計と合成を中心課題に生物有機化学、医薬化学、有機合成化学の分野で研究指導を行う。

（152　唯（邨次）　美津木）
　硬X線XAFSイメージング分光による固体触媒ミクロ構造と反応性の可視化を中心課題に物理化学の分野で触媒・資源化学プロセスを用いて研究指導を行う。

（153　菱川　明栄）
　レーザーフィラメントによる微粒子形成過程の解明、強レーザー反応場中分子の「その場」観測等を中心的な研究課題に、超高速光電子分光法によるアプローチ等を駆使して研究指導を行う。

（154　山田　泰之）
　ロタキサン型ポルフィリンーフタロシアニンスタッキングアレイの構築と機能化等を主なテーマに無機化学の分野で研究指導を行う。

（155　髙木　秀夫）
　量子論に基づいて旧来の「化学反応論」を再構築するとともに、生体内化学反応をはじめとする様々な化学反応の機構を物理学的理論に基づいて解明することを大きなテーマに関連分野での研究指導を行う。

（156　大町　遼）
　カーボンナノチューブにおける新規ラジカル反応の開発と機能性ナノカーボンの創出を主な課題にナノ材料化学、数学解析、有機化学の分野で研究指導を行う。

（157　友池　史明）
　生物分子化学、機能生物化学のアプローチにより、バクテリア内膜を固定したデバイスによるトランスロコン解析等を課題にして研究指導を行う。

（158　村上　慧）
　新触媒を用いる芳香環コアの位置選択的なヘテロ官能基化を中心テーマに合成化学、有機化学の視点から研究指導を行う。

（159　齊藤　尚平）
　多分子協調場としてのフレキシブル光応答分子の機能集合システム構築や機能性可視化剤としての柔軟な発光分子の開発とマテリアルイメージング技術の確立を目指し、関連分野での研究指導を行う。

（160　中　寛史）
高効率水和触媒の創出を指向した遷移状態制御化学の開拓やアルコールの光触媒変換を鍵とする有機合成反応の開発を中心に合成化学、化学系薬学的手法で研究指導を行う。

（161　田中　慎二）
新規光学活性ピコリン酸型配位子の開発と不斉触媒反応への展開を中心とした研究を進め、合成化学、有機化学関連の研究指導を行う。

（162　中村　光廣）
オペラ検出器によるニュートリノの研究、原子核乾板による暗黒物質の検出等を中心に据え、素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理の分野で研究指導を行う。

（163　佐藤　修）
原子核乾板における低エネルギー電子飛跡の高速自動同定等を課題にニュートリノ、素粒子実験、チャーム粒子をキーワードとして研究指導を行う。

（164　伊藤　英人）
自在π拡張反応の開発とグラフェンナノリボン合成への応用を研究課題として、主に合成化学の分野で研究指導を行う。

（165　張　中岳）
リチウム電池に利用できる有機金属を骨格に持つ活性カソードの研究を中心に機能物性化学の手法を用いて研究指導を行う。

（166　TAMA Florence Muriel）
多様な実験データから生体分子の構造モデルを構築するツールの開発、生体分子の運動を実験データから理解する手法の開発、実験研究グループや製薬企業と連携しての生体分子機能の研究等を課題に、計算的手法や実験データを駆使して分子生物、遺伝学の分野で研究指導を行う。

（167　石橋　和紀）
紫外線／赤外線でのEta Carinae観測:変化する恒星風の包括的検証を中心課題に天文学の分野について研究指導を行う。

（168　森　郁恵）
ROS産生酵素による寿命延長機構の解明や光遺伝学による神経回路と行動の解析を研究課題に遺伝・ゲノム動態、遺伝学の観点から研究指導を行う。

（169　中野　俊詩）
　選択的姉妹染色体分配を介した左右非対称性決定機構の解析を中心テーマに発生生物学的手法を用いて研究指導を行う。

（170　鈴木　孝幸）
　発生生物学の分野でトップダウンアプローチによる階層を超える形態形成の理解を目指し、関連分野での研究指導を行う。

（171　村上（村瀬）　緑）
　無脊椎動物の視覚情報変換・伝達の構造基盤や無脊椎動物ロドプシンの光活性化機構の解明を中心テーマに生物物理学、構造生物化学の手法を用いて研究指導を行う。

（172　松下　琢）
　ナノ細孔内に形成した１次元ヘリウム３流体の量子状態の解明を中心に1次元フェルミ流体、比熱、核磁気共鳴をキーワードに関連分野での研究指導を行う。

（173　下川　淳）
　中枢神経疾患の理解と治療を目指したエリスリナアルカロイド類縁体の網羅的合成研究を中心テーマとして、化学系薬学の分野で研究指導を行う。

（174　奥村　暁）
　大気チェレンコフ光の収集効率改善による次世代ガンマ線望遠鏡CTAの高感度化や世界最高の角度分解能を持つ光学望遠鏡の実現を目指し、素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理分野での研究指導を行う。

（175　西山　朋子）
　細胞周期依存的なコヒーシン一分子ダイナミクスの解析を中心的課題に分子生物学の観点から研究指導を行う。

（176　山川　洋一）
　シリコン原子空孔における強相関・強結合量子状態等をテーマに原子・分子・量子エレクトロニクスの分野で研究指導を行う。

（177　深川　美里）
　原始惑星系円盤の時間変動の詳細観測を中心に、光学赤外線天文学、原始惑星系円盤、光赤外線天文学などのキーワードで表わされる関連分野の研究指導を行う。

				（178　田中　実） 　配偶子形成初期過程の機構解析や生殖腺の性差構築と維持機構の解明を目指し、発生生物学、生物形態・構造の観点から兼企画を行う。 （179　白石　洋一） 　組込みソフトウェア開発支援環境の研究や並列計算環境上の超大規模組合せ最適化基本技術の研究等を中心に知能情報学の観点から今日を行う。 （180　西村　俊哉） 　生殖細胞による体細胞のメス化メカニズムの解明を中心課題に形態・構造学の分野で研究指導を行う。 （181　鈴木　仁研） 　天文衛星搭載に向けたSISフォトン検出器の超高感度化等を中心課題に、天文学の分野で研究指導を行う。	

別記様式第２号（その３の３）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

授業科目の概要（国際連携学科等）

（理学研究科　名古屋大学・エディンバラ大学国際連携総合理学専攻）（エディンバラ大学）

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	エディンバラ大学	研究指導	（概要） 理学領域の多様な専門分野に関して、研究の実践、指導を行い、研究課題について論文指導を行う。 （1　Neil Robertson） 分子材料、色素増感太陽電池、発光体物質、伝導性/磁性材料の分野で研究指導を行う。 （2　Scott L. Cockroft） 物理有機化学、化学分子認識、非結合性相互作用、超分子化学、単分子生物物理学、分子機械の分野で研究指導を行う。 （3　Dominic Campopiano） 産業用生体触媒作用、天然物生合成、酵素学、タンパク質の構造、抗生物質学、先天性免疫酵素阻害物質の分野で研究指導を行う。 （4　Fabio Nudelman） 生体鉱物、有機・無機ハイブリッド物質、タンパク質結晶相互作用、低温電子顕微鏡観察、ソフトマターの分野で研究指導を行う。 （5　Paul Lusby） 超分子化学、合成配位化学、メタロ超分子化学、分子機械及び発動機、機能的自己組織器官の分野で研究指導を行う。 （6　Stephen A. Moggach） 高圧結晶学、多孔質ペプチド、有機金属骨格(MOF)の分野で研究指導を行う。 （7　Eleanor E. B. Campbell） 物理化学、フラーレンと原子クラスターの気相研究;成長メカニズム、カーボンナノチューブの特性とその応用の分野で研究指導を行う。	

				(8　Kevin Hardwick) 細胞有糸分裂、紡錘体チェックポイントの作用機序分析の分野で研究指導を行う。 (9　Hiro Ohkura) 染色体分離組織の作成方法の分野で研究指導を行う。 (10　Steven Spoel) プロテアソームを介した転写、酸化還元シグナル伝達の分野で研究指導を行う。 (11　Naomi Nakayama) 分子植物科学、システム生物学、合成生物学の分野で研究指導を行う。 (12　Patrick Cai) 生体内感知装置における無細胞遺伝子ネットワーク成長、合成生物学の分野で研究指導を行う。 (13　Irina Stancheva) 遺伝子発現のエピジェネティック調節の分野で研究指導を行う。 (14　Andrew Liddle) 宇宙のインフレーション、宇宙マイクロ波背景放射、暗黒エネルギーの分野で研究指導を行う。 (15　John Peacock) 天文学理論、観測宇宙論、銀河形成及びその発生、活動銀河の発生、重力の水晶体の分野で研究指導を行う。 (16　Franz Muheim) 実験的素粒子物理学、重フレーバ物理学の分野で研究指導を行う。	

				(17 Luigi Del Debbio) 場の量子論、場の理論における非摂動的側面、量子色力学の分野で研究指導を行う。 (18 Cait MacPhee) 生命体における物理学、生命科学、タンパク質の性質、ソフトマター物理学の分野で研究指導を行う。 (19 Martin Evans) 生命体における物理学、統計物理学、非平衡統計力学の分野で研究指導を行う。	